

## 資料編

1. 交流活動の目的
2. 主な出張授業のテーマ
3. 生徒の感想文
4. 「学校と企業・経営者の交流活動」実績表  
(1999年度～2009年度)
5. 各地経済同友会の「交流活動」の状況
6. 「教育フォーラム(第1回～第4回)」  
(機関紙「経済同友」より抜粋)
7. 中学生・高校生の皆さんへ
  - ・「お薦めする本」
  - ・「応援メッセージ」

## 1. 「交流活動」の目的

2009 年度「学校と企業・経営者の交流活動推進委員会」では、この『活動目的』に則り、経営者が学校現場に出向き、交流活動を実践してきました。

## 経済同友会「学校と企業・経営者の交流活動」の目的

### 1. 目的

「交流活動の実践を通じて、さまざまな課題を抱えるわが国の学校教育の改革推進に寄与する」

### 2. 具体的活動内容

#### ① 生徒に対して

##### 【職業観の育成に貢献する】

- 経営者ならではの役割を認識し、経済活動・企業活動を伝え、仕事の面白さ、働くことの意義について伝える
- 自立した個人が、切磋琢磨し、仕事を通じて、お互いに役立ち合いながら貢献するという、社会の仕組みを伝える
- 何事においても、挨拶をする、人の話をよく聞く、物事に集中するといった人としての基礎や、読み・書き・計算・話すという基本的な能力が身に付いていることが重要であることを伝える

##### 【将来について考えるためのきっかけを作る】

- 人生の先輩として、多様な生き方の選択肢があることを伝え、子どもたちが広い視野から自身の将来について考える機会と情報を提供する
- グローバル化した世界を前提に考え、行動する心構えを持たせる
- 一人ひとりの優れた面＝個性を活かせるキャリアを自信を持って目指すことが大切であり、自分の個性にあった職業は必ずあることを伝える

#### ② 教師に対して

##### 【社会の変化に応じた自己変革を促す】

- 経営者の立場から、これからの社会で子どもたちに求められる能力、学校に期待する教育について提起する
- 社会や企業の実情と変化を伝え、教師の自己変革を支援する

##### 【教育とは人づくりであるということを確認する】

- 教育とは単なる知識の伝授ではなく、子どもたちとの相互作用を通じて、子どものみならず、教師自身の人づくり（自立した個人として社会性を育み、人間性を高めること）でもある
- 異業種・異文化との交流等を通じて視野を広げ、常に自己研鑽を重ねることが必要である

### 【学校現場にエールを送る】

- 学校現場を理解し、応援することで、教師の意欲を高め、学校現場の活性化につなげる

### 【経営者として、学校経営改革を支援する】

- (校長・副校長ならびに教頭に対して) 経営者の知見を活かし、学校経営について、ともに考え、助言し、リーダーシップの発揮を支援する

## ③ 保護者に対して

### 【企業や社会の変化を伝え、子育てや教育への柔軟な発想を促す】

- 企業は人材採用において、「熱意・意欲」「行動力・実行力」「協調性」のある人材を求めているという実情を伝え、学歴偏重意識の転換を図る

### 【家庭教育の重要性、学校と家庭との連携の必要性を再確認する】

- 子どもたちに、基礎・基本をしっかり学ばせることが重要であることを再確認する
- 人間性、社会性(礼儀、マナー、他への配慮等)の醸成は、家庭での教育に依存するところが大きいことを伝え、家庭教育の向上を促す

### 【家庭での保護者のあり方について再考を促す】

- 「子は親の鏡」。躰は親の役割であり、まず親が模範を示すことが重要
- 保護者自身の実践を通じて、一人ひとりが自立し、お互いに役立ち合いながら貢献するという、社会の仕組みを子どもに伝える
- 子どもは、自分で考え、行動し、成功や失敗を経験することで、生きる力を身につけていく。保護者が子どもを「褒めたり」「叱ったり」、適切に助言することで、子どもにポジティブな思考が生まれ、夢や希望を持つことにつながることを伝える

## ④ 学校を取り巻く地域社会とともに

### 【地域社会での教育活動を支援する】

- 「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」への参加をはじめ、東京都の各機関(企業・NPO・各団体)とも協力し、地域での教育活動を支援する

### 3. 出張授業で子どもたちに伝えたい共通メッセージ

#### A) 働くことの意義・喜び

- いろいろな仕事をする人がいて、私たちの社会は成り立っている
- 仕事をするということは、社会や人の役に立つことである
- お金を得ることは目的ではない。自己実現や人に感謝されることが喜びである

#### B) 学ぶことの大切さ

- 今、学校で勉強していることは将来必ず役に立つ＝「基礎学力」を身につける
- 大人になっても勉強は続く＝「自ら課題を見つけ、解決していく力」が必要

#### C) 人として大切なこと

- 自分を育ててくれる保護者や、学校の先生に感謝の気持ちを持つ
- 相手を尊重し、感謝する心を持つ
- 競争は、他人とするものではなく、明日の自分を築くために、昨日の自分とするものである

#### D) 自立すること

- 社会の一員としての責任感を持ち、自分の人生は自分で築き、責任をとる
- 一人一人が自立し、お互いに役立ち合いながら貢献するという社会の仕組みを理解する

## 2. 主な出張授業のテーマ

講師が、実際に「出張授業」や「研修会」等でお話している内容について、まとめました。

各講師の「得意なテーマ」を表に分類しましたので、講師派遣のお申し込みの際、ご参考にいただければ幸いです。

## 主なテーマ

### 1. 生徒対象の出張授業

#### ① 進路・職業観について

- ・ 社会人になるにあたって、考えておかねばならないこと
- ・ 進路、進学を考えるにあたって考えておくこと
- ・ 学生時代に学んでほしいこと
- ・ 仕事の意義、楽しさ、厳しさなど
- ・ 会社とはどんなところか？
- ・ 「もの作り」の楽しさについて

#### ② 生き方、夢や目標について

- ・ 夢や目標をもつことの大切さ、すばらしさ
- ・ 人として生きていくために最も重要なこと
- ・ 生きがいのある人生とは？
- ・ 長い人生をどう生きるか
- ・ 21世紀をたくましく生きる力とは？

#### ③ 社会の変化、世界の動きについて

- ・ 21世紀に求められる人材とは？
- ・ 社会が求める人材～中学生として今やるべきことは？
- ・ 「生きる力とは何か」～社会が求めている本当の力とは？
- ・ 日本の国際化、グローバル化について



### 2. 教員、保護者対象の講演

#### ① これからの社会の求める人材（どの様な力が必要とされているか）

- ・ これからの日本社会が求める人材とは？
- ・ 企業が期待する人間、資質・能力とは？
- ・ 進学や就職を考える上で大切なことは？
- ・ 家庭教育に望むこと

#### ② 学校教育に望むこと

- ・ 学校教育に対する企業の期待とは？
- ・ 企業社会の変化とこれからの学校教育

#### ③ これからの学校教育のあり方

- ・ 企業経営とトップの役割とは？
- ・ 企業における人材育成と活用について



以上

得意テーマ		
No.	テーマ	内容
[A] 働くこと・仕事について		
1	働くことの意義	自分が何をしたいのか探そう。他の人にわかってもらえる、喜んでもらえるものを考えよう。自分の近くの人々の仕事をみてみよう。お金はすべてではないが大事。プロの仕事は厳しい。規則正しい生活が基になる。何も見つからなければ、まずは勉強を続けること。
2	働くことの意義・社会が求める人材	働くことは、①プロになる事＝お金を得ること、②プライドの持てる仕事、③社会への貢献(他人の喜びが自分の喜びとなる)、④興味(好きなこと)のある職業。将来の目標を持つのは早い程よいが、自分自身の経験を踏まえ、いつでも方向転換できることを伝える。
3	働くことってなんだろう	自身の経験や子育ての体験をもとに、仕事をする上、生きる上で大切な考え方を伝える。好きな事、得意なこと、チームワーク、自分で考える事などの大切さを子どもたちに多くの質問を投げかけながら進める。
4	働くことの意味と楽しく働く事	自分が負け犬意識を持つ事なく、存在を意義づける為に働く。働く上では目標を少しずつ達成出来る事で楽しみを作る。
5	生命の大切さと働くことの意義	①多くのご先祖様のDNAと願いが、一人一人に受け継がれている。 ②仕事をする時に大切なこと「無財の七施」について ③勉強の仕方
6	なぜ働くのか。働くことと勉強の意味	・自己学習能力の大切さ ・学校の勉強は社会に出てからも一生役に立つ
7	働くことの意義、職業の選び方	・自己の得意な技を見出すこと ・経済社会が“自給自足経済”から“物々交換経済”そして貨幣を媒介した現在の“貨幣経済社会”への変遷を理解させ、自己の得意な技が発揮できる職業を選ぶことの意義を話します。 ・「仕事」と「奉仕」と「趣味」の違いを具体的に説明します。
8	働くよろこび、夢を実現させよう	・社会に出て働くことの意義、ルールと役割 ・働き甲斐、人のためになること ・私の経験から 新築づくり—会社経営 (21世紀はバイオの時代 大きな広がり)
9	女性が働くという事	祖母の代から3代女性が働いてきている経験から、女性として大変な事、得する事や気をつけたいことを伝える。
10	社会が求める人材と働くことの意義	世の中の変化、現実の姿を解説し、その中で働くことの意味、意義を語る。
11	仕事について	人は一人では生きていけない。だから、何か自分の責任を果たしていく「仕事」をする必要がある。どうせならば自分に合った「仕事」を見つけよう。
12	仕事とは何かについて	仕事の目的は生活のためだけか。能力開発の喜びや公共精神について考える。
13	技術者として海外で仕事を成す為には	資源のない日本人は今後ますます海外での仕事が多くなる。体験により尊敬されるリーダーとなる必要で成功する為の教訓
14	仕事で本当に大切にしたいこと	・同名の著書の内容に沿い、自分を伸ばす仕事観、企業経営体験、新規ビジネス創出の魅力について語り、次世代へのエールを贈ります。
15	国際機関で働くことの意味、必要とされる能力	グローバル化の下で、国際機関の役割は従来以上に重要となっています。2回、通算6年以上の国際機関勤務の経験を踏まえ、国際機関の仕事内容、働くことの面白さ、必要とされる能力などにつき、解説します。
16	「夢の実現に向けて」なりたいたい職業につくには	逆算方式で10年先の自分を考えて自分史を作るように伝える。例として宇宙飛行士の若田公一さんの年表を話す。
17	中高生時代と今の職業	果たし合い等をしていた中・高生が司法修習生時代に判決を書く立場となる。監視される側と判断する側を経て、責任感をもつようになる。
18	プロフェッショナルのすすめ	仕事人はすべからずプロフェッショナルになる必要があり、それには専門性、スキル、リーダーシップ、パッション、一流になる高い志が必要。



得意テーマ		
No.	テーマ	内容
[A] 働くこと・仕事について		
19	会社創業の楽しみ	自分の趣味を生かすために、企業を創る、苦しみと楽しみについて話します。
20	新製品の開発	ウイダーインゼリーを例にとり、発想、ニーズ、調整、パッケージ、販売、広告等具体的な例を話します。
21	淘汰される建設業での変革への挑戦	世間から不要だと判断された会社は市場から退場させられます。夢を持ち前向きな思考の人材、感動を分かち合える社員を育てる。苦境においてこそ人は鍛えられ、苦あれば楽ありの人生観を伝えます。
22	社会人になることの意味	世界市場に展開している製造業での開発、製造、営業、サービス等の仕事について、話します。
23	君は何になりたいか	日本を代表するインテリジェントオフィス作りの事例を通して、プロジェクトに参画したデザイナー、建築士、空調・電気等設備技術者、情報通信技術者、施工管理者達の活躍ぶり、それぞれの生い立ち等を紹介します。
24	企業・会社とは何か？	社会に役立ち人々を豊かにすることに貢献する存在であること、新しい「価値」を作り出すものであること、「利益」を出すことの意味、いろいろな問題点と今後の解決策、働く人たちの心構え、等。
25	会社って何だろう	会社というのは社会に役立つ価値を作る為に存在しています。その「しくみ」を簡単に説明します。

得意テーマ		
No.	テーマ	内容
[B] 社会で求められる人材・能力について		
1	企業が求める人材	学生として在学中に学習し、スポーツなど部活動を通して経験してもらいたいこと。
2	21世紀の求める人材とは	世界はグローバル化→英語の必要性。日本では少子化高齢化→女性も男性も同様。職業を持つ、スキルとしてITの必要性和同時に海外の文化と歴史を学ぶ。自身の経験から英語で助けられたことを話す。
3	21世紀に求められる人材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代の流れを読み取ることの重要性</li> <li>・国際感覚を持ってコミュニケーションが出来る重要性</li> <li>・確かな目標設定を、明察力(vision)の重要性</li> </ul>
4	社会で求められる人材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆さんは、なぜ勉強するのか?</li> <li>・将来何になりたいのか?</li> <li>・働くって、どういうことだろう?</li> <li>・日本で、世界で、私達は どう生きて行くのか?</li> </ul>
5	今、社会が必要としている人材とは	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長い海外生活、外資につとめ、海外の人材と接する上で必要なもの、今、中学生・高校生に考えてほしい生き方などを話しつつ、すべきことを探る。</li> <li>・グローバルに活躍できる人材とは?</li> </ul>
6	世界に通じる人材の育成	グローバル化した社会の中で、どのような人材が求められているのか、また、そうした人材の育成について講師自身の体験や、実際に世界で活躍している人を例にあげながら話します。
7	社会に出て求められる能力とは何か	グローバル化社会、知識基礎社会、少子高齢化社会で求められる能力とは。
8	ライフスキルとしての成功への5要素について	成果は、もって生まれた能力だけで決まるのではなく、意欲の要素が大きいことを話し、限界は自ら作っていて、壊せるのも自分だけであることを知って貰う。ダーウインの進化論にある「最も強いものや最も賢いものが生き残るのではなく、最も変化に敏感なものが生き残る。」ことを体験を通して伝える。
9	変わる時代、変わらない基礎力	時代は常に変わるが、仕事・職業で必要なことは不変。それは人間力(人格を含めた人間としての力)、基礎学力である。
10	これからの学校教育と人材育成	今、教育に求められるものと人材育成の問題点について。

## 得意テーマ

No.	テーマ	内容
[C] 夢・目標・人生・生き方について		
1	夢	人生の目標として、夢を持つことによって、人生の色々な過程を夢へのアプローチ、自身の成長という達成感に結び付けていくことによって、豊かな人生を築くことを話します。
2	夢の実現	自分の夢を具体的に自分で考える事の重要性。夢は必ず実現する。それには努力(学習)が必要である→息子の体験談
3	夢について	夢は簡単には実現しないかもしれない。でも、本当に好きで一生懸命やっていると、何かいい事が起きると思う。(自分自身の失敗・成功談)
4	夢は叶うー与えられる道より自分で選ぶ人生を	32歳まで様々な職業経験を重ねながら、自分の好きで好きでたまらない仕事を探し続けた自らの反省を踏まえ、自己発見、自己開発、人生の目標を定める大切さを話します。
5	夢・人生の目標に向かって生活する	夢を持つ。夢に到達する道は一つだけではない。しかし、いろんな路を經由しても一つの目標、方向に進んで行くという人生こそ夢ではないか。
6	目標をもって生きる、夢を実現させよう	・生きる(働く)こと、何のために？ ・社会で生きる力とは？ ・くすりづくり、会社経営の経験から
7	勉強・健康・夢	・勉強も健康も人生の基礎作り。 ・夢を日記に書き、実現するために今何をすべきか。
8	可能性は自分の心の中にある	自らの持っている潜在力、能力は皆にあるもの。できない自分からの意識改革を促す。自らの体験からこれらを具体的に説明していく激励会。
9	人生と浪花節 栄光の過去づくり	今を一生懸命有意義に生きること。未来に何をするか(信頼されない)でなく、栄光の過去づくりをすること。過去は変えることはできないし、信頼される。よき師、友にめぐり逢える能力を磨くことが人生の最高の勲章である。すばらしい家庭が生まれる。
10	世界の動き、大競争時代の生き方	・人と同じことをしない、独創性はまねることから！ ・自分の頭で考える
11	異なる文化、生き方にオープンな心を	異文化との接点から新しいものが生まれる。自分の教育(日本のキリスト教系大学、米国ビジネススクール)、勤務地(米国、香港)、就職先(日本企業から中国香港企業への転職)から具体的に話す。
12	ものの見方、考え方を変えると人生が変わる	自分の体験を通して得た現在の考え方と学生時代との違いを話し、結果がどの様に違っているかを話す。そして、それは目標を設定して行動を継続していくことによって、若い時からでも手に入れられることを伝える。
13	グローバル化の進む社会でどう生きるか	グローバル化とは何か、どこまで進んでいるのか、今後どうなるのか、われわれはどう対応したらいいのか、先ず自分の住む地域→日本→アジア→世界と目を広げよう。
14	自分の人生をどう生きるか	・なぜ勉強するのか？ ・生きがいとは、どう生かすのか？ ・社会の変化とは？ ・学校教育のあり方とは？
15	生き方、人との接し方	自己に厳しく、他人にはやさしく接することの大切さを訴えたい。
16	人生の進路選択とその実現方法について	人生は旅であり、旅には目的地、道順、計画等が必要であるように、これからの人生も同じです。私自身の体験を踏まえて、大学、留学、MBA、職業の選択について、話します。
17	人間として生きていくために大切なこと	「感謝」と「努力」、「強さ」と「優しさ」、戦中戦後の食糧不足、地球環境の悪化、グリオ森永事件、戦争、テロ等例を上げて説明します。
18	今日からあなたは新しい自分に目覚める	自分の仕事を通じて得た教訓、知恵について話します。特にものの見方、考え方を変えると成果が人生が変わることと、変えるための方法について伝えます。

得意テーマ		
No.	テーマ	内容
[D] 学生時代に必要なこと		
1	自立すること、なぜ勉強をするのか	なぜ自立が必要か。勉強は自分のためのもの、得意分野を見つける。
2	学校の勉強や活動は社会に出て役に立つか	学校で学ぶ教科や学校の諸活動は社会に出てすべて役に立つので、しっかり学んだり、取り組んでもらいたい。
3	世界を旅した経験から中学生時代にやっておくべきこと	世界の100カ国を旅して得た、人生の生きがいと勉強の仕方について話します。
4	中学生・高校生に必要なこと～自分自身および自分以外の他者から必要とされる存在になること	自分の存在が自分あるいは他者から必要とされるように、自分の能力、技術などを磨かなければならないこと。 他者から必要とされれば働く場が得られることについて、話します。
5	時代が青少年に期待すること	①世界はどう動くか ②日本はどうなる ③世界の人と交流しよう ④時代を担う青少年のあり方
6	学ぶことの意味	自分の体験から恩師との出会いや、働くこと(社会に貢献すること)の大切さ等について話します。

得意テーマ

No.	テーマ	内容
[E] 経済・社会・国際社会		
1	おカネと投資ということ	おカネは感謝のしるし。投資は時間を大切にすること。
2	お金の流れ	「お金の流れ」を通じ、経済のしくみを分かり易く解説
3	金融・証券市場教育	・ファイナンシャル リテラシーを高めよう。 ・経済、金融、証券の基本的理解、お金の役割、選択するということの大事さetc.
4	世界の動きと日本の将来	・国際社会において日本が占める地位を、各分野から具体的な数字を例に、他の先進国などと比較しながら話し、日本の将来について関心を持ってもらいたいと思います。 ・また、海外での体験談を交えて話し、国際社会においても人と人とのつながりが大切だということを伝えます。
5	アジア諸国の現状と日本の将来	アジア諸国の現状と日本の将来について、一緒に考えてみましょう。
6	日本人とアジアの人々の共生	・何を知るべきなのか ・歴史的(近現代史)なこと について、話します。
7	嫌いな数学や物理が社会でどう使われているか	・地図に残る仕事:エジプトのピラミッドなどピタゴラスの定理が使われています。 ・作る喜びと苦労の中で基礎の大切さを伝えます。
8	地域社会を生きる	北海道から九州まで地方生活の体験を踏まえ、地域とどう係わって生きていくかを話し、役割や生きがいにつき、考えてもらいたいと思います。
9	海外事情・国際問題	・3度の海外駐在、70カ国以上の国の訪問で感じたこと ・世界から見た日本についての印象 を話します。
10	社会と自分との関係 100年後の日本	仕事を通して社会と自分がどうかかわっていくか、100年後の日本を考えながら大きなビジョンを持って仕事をしていく事を伝える。またボランティアを通じて世界と自分がどうかかわっていくかを伝える。
11	国際問題	元国連大使としての経験等
12	視野を広く、外国を見よう	自分が子供の頃、海外への憧れ 自分の海外経験 英語の重要性 視野を広く持つために、自分の視点を
13	日本人の国際社会での立ち位置	すぐに自己の感情・考えを表現しない日本人の行動は特異である。感情表現の同時性は大切。

得意テーマ

No.	テーマ	内容
[F] 学校経営関係		
1.	学校経営とリーダーシップ	①学校の経営改革 ②経営者、管理者に求められていること ③「重職心得箇条」について
2	21世紀のリーダーシップ	「人材育成の経営戦略」 ・リーダーとしての基本を身につけ、ものの見方・考え方を発揮し、組織の効果を高める。 ・国際感覚を持ち、国際人としての教養を高める。
3	学校教育の品質向上と先生の資質向上(教員対象)	・学校経営品質の向上で学校選択に耐えられる学校づくりを ・先生として資質向上の具体的方法 ・民間並みの経営と先生の能力強化の具体的方法とは
4	学校教育の品質向上と先生の資質向上(教育委員会対象)	地域の教育力向上に向けた教育委員会の戦略づくり組織作り、教育政策展開の具体的方法とは何か?
5	今、管理職に求められる 力—保護者からの難しい 苦情への対応—	クレーム処理は、日頃の情報活動、人間関係の確立と問題発生時の早期対応が必要
6	組織を動かすリーダー シップ	組織を動かすために求められているものは? ピーター・ドラッカーの「マネジメント」を引用し、且つ渋沢栄一、松下幸之助、本田宗一郎の例についても説明。

得意テーマ			
No.	テーマ		内容
[G] 個別トピック(外国語)			
1	英語の必要性	英語	外交官時代の経験
2	英語をもっと学ぼう～全世界を見よう	英語	国連加盟国193のうち、130以上の国々を廻ってみて、英語が出来れば各国で意志を通じさせることが出来ると思う。
3	グローバル化時代のコミュニケーション	英語	共通のコミュニケーション手段を持つことの大切さ、自分の意見を持ち発信することの重要性、文化・宗教・考え方の違いをどう理解するか、“世界共通語”としての英語をどう勉強するか。
4	グローバル時代のコミュニケーションは英語。英語力で仕事が広がる。	英語	中国香港系の企業では、英語が公用語。世界中の人間が英語を遣って世界中にビジネスを展開している。留学しないで、世界に通用する英語力をつける方法は？中学時代からの自分の勉強法、英語力アップ作戦を話す。
5	いろいろな国の人と仕事をすると楽しいよ	英語	IBM、ガートナーとして32年間外資系で勤務し、その間何回かアメリカで暮らした経験をもとに、様々な国の人達と仕事をする事の楽しさ、英語の大切さを伝える。
6	21世紀の求める人材とは	英語	世界はグローバル化→英語の必要性。日本では少子化高齢化→女性も男性も同様。職業を持つ、スキルとしてITの必要性と同時に海外の文化と歴史を学ぶ。自身の経験から英語で助けられたことを話す。
7	グローバル時代の職業について	英語	グローバル化の時代、異文化の理解、コミュニケーション(英語)、PC・IT、世界規模でのものの考え方が必要。よって、英語能力開発、留学も一つのすすめ一日米の学生、ビジネスマンの行動・考えの違いを説明。
8	日本語以外の言葉を学ぼう	外国語	日本は海に囲まれ、孤立した国です。世界という視点で日本を見るためにも外国語を勉強しよう。
9	これから発展する国	外国語	BRICs、VISTAの説明をし、英語+もう1つの外国語の必要性(資源国、中産階級の育つ国、英語)
[G] 個別トピック(数学)			
10	数学の好きになる手助け	数学	どんな職業でも数学の無い仕事はない。受験だけに必要でなく、論理的な思考することが大切であること。
11	数学嫌いであった私の後悔	数学	高校時代の数学についていけなくなり、文科系に進学。しかし、金融、マーケティング、調査等の仕事の上で、微分積分、確率、統計が仕事にも必要なことを知り愕然。苦労しながらなんとか分かるようになった。失敗談から話す。
[G] 個別トピック(国語)			
12	国語力、日本語力を身に付けよう	国語	「日本語でしっかりコミュニケーションが取れる(話す、聞く、読む、書く)」があらゆることの基本。英語や外国語に習熟する出発点でもある。
[G] 個別トピック(理科)			
13	バイオ(生物のしくみ)がおもしろい	理科	・微生物のすごい働き ・遺伝子研究一人にあった医療・医薬品ができる。再生医療。 ・環境をこわさないバイオ工場

得意テーマ			
No.	テーマ		内容
[G] 個別トピック(社会)			
14	社会における自分の役割、立ち位置の発見	社会	人間がそれぞれの役割を担って活動する社会の仕組み、現在の社会の構成要素である歴史、文化、地理(環境)要件など、どのような社会を目指すのか、グローバル化の中でどう生きるか。
15	勉強は暗記ではない～歴史や諺について社会に出て役立ったこと～	歴史や国語	歴史を単に暗記科目として捉えるのではなく、その背景や流れを考えてみることで、将来起こる予測不可能なことに対して決断や判断をしなければならない時に、如何に役立ったかを自分が社会に出てからの経験を通じて伝える。諺や言い伝えに、真実が隠されていることを知って貰う。
[G] 個別トピック(スポーツ)			
16	努力することについて	スポーツ	努力することの意味と成果について考える。「努力→成果→評価→自信・誇り→新たな努力への意欲」という成功の方程式を伝える。
17	部活(テニス、山登り)から学ぶ	スポーツ	チームワーク、やりとげる、人を思いやることの大事さ
[G] 個別トピック(美術)			
18	見ることや知る事の重要性、他の先進国と日本の美術に関する価値観、捉え方の違いについて	美術	海外では一般教養の一つであるが、日本では趣味の一つという捉え方をされているが、知識として知っている事と好みを持つ事の重要性を伝える。
[G] 個別トピック(勉学一般)			
19	生きていくのに最も必要な教科とは	勉強一般	日本の教育の最も優れているのは「隠れたカリキュラム」といわれる教科外のすべての活動。生きる力を身につけよう。
20	学校の成績が良いのと世間で頭が良い人とは異なる	勉強一般	1. 判らないことを判るようにする 1. 知らないことを知るようにする 1. できないことはできるようにする A. むずかしいことをやさしく B. やさしいことを深く C. 深いことをおもしろく
21	勉強は宝さがし	勉強一般	自分の中で眠っている宝石の原石を発見するのが勉強
22	オンリーワンはナンバーワン	勉強一般	「できない」と「しない」は違う。得意分野でオンリーワンになればナンバーワンになれる。
23	大学教育	勉強一般	学習院長としての経験等
[G] 個別トピック(礼節)			
24	礼儀正しい人が必ず勝利を得る	礼節	ありがとうは直接口で言うか、自筆で書く(メールは禁止)。挨拶は自分から先に言う。年上の人等と食事をするときには年上の人箸をつけるまで自分は待つこと。外で食事などをしたときに“ごちそうさまでした”としっかり頭を下げて父母等にお礼を言うこと。



得意テーマ		
No.	テーマ	内容
[H] その他		
1	こんな人は嫌われる	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 笑わない</li> <li>1. ありがとうを言わない</li> <li>1. おいしいと言わない</li> <li>1. 献身的でない</li> <li>1. 一途さがない</li> <li>1. 人を信じない</li> <li>1. 人を恨む</li> <li>1. いつも他人が悪いと思う</li> <li>1. 噂話ばかりしている</li> <li>1. 美的感覚がない</li> <li>1. 電車内で化粧直しをしている</li> <li>1. 席を譲ろうとしない</li> </ul>
2	苦労は買ってでもしろ	苦労して得た技術や知識は本物で一生もの。あえて火中のクリを拾って、自分の可能性を試せ。トップ5%を除く人には、才能より努力が必要。自分の力の120%で生きる方法を自分の体験で話す。
3	リーダーの心構え	どんなセクションであれ、リーダーになる機会は沢山ある。自分に厳しく、他人には優しくがリーダーの要諦と思う。私自身の経験に基いて若者に訴えたい。
4	健康について	健康について、一緒に考えてみましょう。
5	自然を大切にしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 地球環境はどこまで悪化したか</li> <li>2. その要因とは何か</li> <li>3. 自然を大切にする日本の伝統文化</li> <li>4. 自然との共生を考えよう</li> </ul>
6	資源と環境問題	資源(特に化石燃料)と環境問題は表裏の関係にあります。資源を海外に依存している日本の現状を説明し、地球資源問題を考えてもらいます。
7	循環型社会とゼロエミッション	自社のゼロエミッション達成の経緯から一人一人の小さな積み重ねが大きな目標達成には如何に大きな要因であるかを伝えます。
8	親と旅行すること	体験が身につけば、自ら視野が広くなり、楽しい仕事ができるようになる。
9	親子の問題	個性を伸ばす実例としてNYで画家をしている息子の話をする。親の考え方vs個性を伸ばす
10	企業の人材戦略について(校長対象)	・オリックスの人事戦略について リース業務に留まらず投資銀行業務と融資分野から更に不動産業務へと多岐にわたる国内・海外での業務展開に加えて、野球のようなスポーツ事業にも従事する幅広い人材の活用法としての人事戦略システムの紹介
11	日本の教育システムを考える(教員・PTA対象)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本における教育は、基本的目的を達成しているか?</li> <li>・教育の社会背景としての日本社会の現状と問題点、教育改革を日本社会の将来を展望してどう実行すべきか?</li> </ul>

### 3. 生徒の感想文

これまで実施した「出張授業」での生徒の感想から、本報告書の「中学生に望む」、「高校生に望む」の章の、『主なメッセージ』に対応したものを抜粋しました。

出張授業が、子どもたちの進路選択や人生観に影響を与えていることが読み取れます。

また、子どもならではの感性や、子どもたちの興味の対象も伺い知ることができます。

なお、これらの感想文はすべて講師の手元に届けられたもので、文章はそのまま転記しています。

## 生徒の感想文

### 【第1章 1. 中学生に望む】の「主なメッセージ」に対応

#### ① 生きがい（人生の目標）を探そう

- 私は今まで人生の目的というものを考えたことがありませんでしたが、真剣に自分をみつめることができたので、とても良かったです。(中学3年生)
- 大きな夢のために小さな目標の達成を積み重ねることが大切とおっしゃっていました。私も小さな努力をたくさんしていこうと思いました。(中学2年生)
- 今まで僕は、自分にはなんのとりえもないから、夢なんか持っても意味がない、どうせ叶わない、そう思っていました。しかし今、やっと努力という言葉の本当の意味を少しわかった気がします。うまく言葉に出来ないけれど、大切なのは夢をあきらめずに、ひたすら追いつけることなんだと思う。(中学3年生)
- 「目標は低く、志・夢は高く」というお話を聞いて、その通りだなあと思いました。今までは目標が高すぎて何をしたらいいのか分からなかったです。(中学2年生)
- 人生の時間の中のたくさんを使う仕事で、生きがいを感じて働くことはとても大切だと思いました。どの仕事にも何かは楽しみがある、という言葉も印象に残りました。僕が大人になったら、生きがいを持てる仕事をしたいと思います。(中学1年生)

#### ② チャレンジ精神を持とう

- 最近、私は失敗ばかり続いて、悩んでいました。でも、本日の講演を聞いて、少し自分に自信が持てました。これからも、きっとたくさん失敗すると思いますが、自分を信じて頑張りたいです。(中学2年生)
- 「若い人の力」のサッカーのお話で、私たち10~20代のうちに秘めた力は強大であると聞き、自分にも何かを変える力があるのか、と考えさせられた。(中学2年生)

- 僕の家は魚屋で、結構この辺では有名です。特に家業が嫌いというわけでは  
ありませんが、家業を無理に継ごうとは思いません。周囲の人たちからは家  
業を継ぐことが当たり前のように語られている中、正直なところ、僕はどう  
したらよいか迷っていました。そこで、今日お話を聞いて、僕はもっといろ  
いろなことに挑戦して、自分のやりたい仕事を見つけようと心の中で思いま  
した。広く社会に出て、多くの経験をして、知識も精神も大いに修行し、人  
間的に大きくなりたいと思いました。世の中には僕のまだ知らない職業がた  
くさんあると思います。たくさんすることに挑戦して、そのことを生かして、  
自分の仕事を決めたいと思います。(中学2年生)
  
- 「可能性は自分の心の中にある」という言葉が印象に残っています。私は吹  
奏楽部に所属していますが、その先生の教で、このようなものがあります。  
「いい音を出すには、こんな音を出したい!というイメージを強く持つこと」。  
これは、今回のテーマに結びつくのではないかと考えました。前向きに考え  
ることで、自分の可能性を、力を引き出せる=いい音が出せるのだと思いま  
す。(中学3年生)
  
- ③ “基本”を大事にしよう
- 仕事をするにあたって、努力、忍耐、規則正しい生活が大切だということも  
わかりました。私は早寝早起きが苦手なので、今のうちに規則正しい生活を  
心がけたいと思いました。(中学1年生)
  
- 私は、自分が今生活していることに感謝する心と、自分を高める努力をする  
心と、自分に不都合なことに対する強さ、そして優しさを常に心にとどめて  
おき、自分のこれからを歩んでいこうと思いました。(中学3年生)
  
- 僕の心の中に残ったことは、「時を守り、場を清め、礼を正す」です。理由は、  
社会の三原則のような気がしたからです。僕は一生この言葉を忘れずに生き  
ていきたいです。(中学2年生)
  
- 健康と仕事の両立をととても大事にしていることがよくわかりました。僕も運  
動と食事はバランスよく行っているつもりで、今の自分の体は健康だと思  
います。この健康な体を崩さないよう、一生健康な体をつかっていきたいと思  
います。〇〇さんは、健康でなければ、仕事は語れないとおっしゃっていた  
ので、なおさら気をつけようと思いました。(中学2年生)

#### ④ 人とのつながりを大事にしよう

- 自分たちが生活できるのは人が働いているから。働くことの基本・つながりを学ぶことができた気がします。(中学2年生)
- 私は生活するためにお金が必要だから、誰もが働かなければならないのだと思っていました。ですが、〇〇さんは、自分のためだけでなく、家族のため、社会のために役立ち、感謝されるためだと教えてくださいました。それを聞いて、私は視野を広げて見れていないのだなあと実感しました。(中学2年生)
- 働くというのは、やっぱり大変なことで、チームワークが大切で人との関わりが重要になってくるので、自分をまず磨き、コミュニケーションをとれるようになりたいです。(中学2年生)

#### ⑤ 本物と接し、本物から学ぼう

- 特に印象的だったのは「プロでないとお金を貰えない」というお話でした。お金は働いて成果さえあげればもらえるものだと思っていたのですが、「プロ」という言葉の裏に“苦労”やその道を一生懸命やっっていく“覚悟”のようなものが見えて、リアルな視点で受け入れることができました。(中学3年生)

#### ⑥ 身近な人の仕事ぶりを見よう

- 私は将来の夢が何度も変わってきましたが、最近1つに決まりました。それは、県職員となり、林業の仕事に就くことです。この仕事に決めたきっかけは、父でした。県職員で農業の仕事をしている父にこの仕事を聞き、なりたいたと思いました。〇〇さんが「人生にはきっかけがある」とおっしゃったように、私にもあったので、人生を変えるものだと実感しています。(中学3年生)
- 私の家は自営業で、親はお客さんにありがとうと言われるとうれしいと言っていました。私もそう言われるように職場体験先で頑張りたいです。家の手伝いも大切なんですね。私はかなり家の事をやっています。納豆売りはさすがにやっていないけど、掃除や食事の片付けなどはほぼ毎日やっています。私は自分の才能がよくわからないので、いろいろな仕事をやってみて、自分に合う仕事を見つけないかと思っています。(中学2年生)

⑦ 今打ち込めることがなければ、まずは勉強しよう

- 自分の好きなことをどんどん伸ばしなさい、と〇〇先生がおっしゃったとき、じゃあ嫌いなことはやらなくてもいいんだ、と思いましたが、話の後半で「でも、自分の好きなことだけ伸ばしていても、もやしのようになってしまうから、土台として、他のことも伸ばさなくてはいけない」というお話を聞き、やっぱり嫌いな勉強もしなくてはいけないんだと思いました。けれど、嫌いなことでも土台になるとは私の頭の中にはなかったもので、勉強は無駄にはならないのだという前向きな気持ちになれました。(中学1年生)
- 今は学校での勉強を一生懸命にやって、いろいろな知識を身につけて、将来幅広い道がひらける素敵なお女性になりたいと思いました。(中学2年生)

【第1章 2. 高校生に望む】の「主なメッセージ」に対応

① 論理的に考える習慣をつけよう

- 『出来ること、したいこと、すべきこと』の話では、自分もしたいことを優先して、すべきことを後回しにしたり、出来ることで手を抜いてしまったりしていると思った。4月から社会に出るにあたり、就職してもこの話を忘れないようにしたい。(高校3年生)
- 「冷静な頭がないと論理は組み立てられない。しかし、熱い気持ちがないと貧困は救えない」という名言を紹介していただき、冷静な頭と熱い気持ちが必要なのだとわかりました。今後の僕の人生に役立てていきたいです。(高校1年生)

② 社会常識を身につけよう

- 礼儀がこんなに大事なことだということを知らなかったのが、今日知れてよかったです。私は、挨拶はするのですが、声が小さくて相手に聞こえていないことがけっこうあるので、もうちょっと大きな声を出そうかな、と思いました。(中学1年生)
- 将来の自分が充実した生活を送るために、好きなものを捨てないと改めて思いました。私はピアノが好きです。世界に誇れるほど上手な訳ではありませんが、私が弾くことで誰かの気持ちが動いたら、とよく思います。教養を身につけ、常識と文化を大切に、自分の持つ意見を正直に言える人になり

たいと思いました。(高校1年生)

### ③ 人としての基本的な人格を形成しよう

●「物を創るのに一番大切なものは人の心」というのが一番印象に残っています。「感謝と努力、強さと優しさが大切」というのは日常生活でもいえることで、それができる人は、人からの信頼も得られるし、充実した毎日を送ることができるんじゃないかな、と思いました。(中学2年生)

●社会に出たときに大切なこととして、人格(人柄)、正直、誠実、思いやり、勇気など、全て当たり前のことだけど、そのようなことが出来ない人がたくさんいるというのが今の現状なのだろうと思いました。僕は将来このような人々にならないために、道徳的な面をしっかりとしていきたいと思いました。(中学3年生)

### ④ コミュニケーション能力を磨こう

●今の社会は、自分の意見をしっかり持って、その意見を周りにわかってもらえるようにアピールすることが必要だと思った。(中学2年生)

●どんな職業も一人で出来るものはなく、他人の意見を聞いて参考にしたり、助け合ったりしながらやらなければならないのではないかと思います。そうすることで、自分も会社も大きく成長できるのだと思いました。そしてその時、仕事が楽しいと思うようになるのかな、と感じました。(中学2年生)

### ⑤ 生きがい、目標をもち、その先に働くことの意義を見出そう

●自分の興味のあるものが仕事へとつながっていったらいいと思いました。何かに夢中になって目標に向かって頑張れるということは素晴らしいことだと思います。私もそんなものが見つかって、一生懸命に取り組めたらいいと思います。(中学2年生)

●何事にも前向きな行動力と、これだけは誰にも負けないという情熱が、自分の将来にどれだけ役に立つかを知った。進路の決定まであと2年しかないが、自分を高めていきたいと思った。(高校1年生)

### ⑥ グローバルな視点と身近な地域への関心を持つ

●21世紀の日本はどうあるべきか、海外とどう接していくかなどのことを学びました。私が驚いたのは、会社に入るにはあまり学歴は関係なく、ほんの参

考程度で、面接がとても大事だということでした。(中学2年生)

- グローバル社会は、いろいろな物や情報が国を越えて自由に移動できることだと知った。自分の考えを持ち、主張し、違いを発見することが大切だということがよく分かり、いい勉強になりました。(中学1年生)

#### ⑦日本語力、英語力(外国語力)を高めよう

- すごい人生を送ってきた方だと感じました。アメリカに一人で行かされ、あまり得意でない英語をマスターしたというお話でしたが、私も高校を卒業したら東京に住む予定で、正直とても不安でした。しかし、お話を聞き、言葉も通じるし、頑張ろうという目標に対する心構えが出来ました。(高校2年生)

- 一番印象に残ったのは、語学はコミュニケーションの手段であるということです。今、私たちは英語を学んでいますが、他国語を学ぶことが大切だと知りました。また、アメリカでは個性を大切に、そして自分で物事を選択する習慣など、日本とは違うところがたくさんあり、驚きました。違いを受け入れ、理解するということが必要だということがわかりました。(中学3年生)

- 「英語は社会に出るとき、とても大事だよ」と言っていたのですが、私の親も全く同じことを言っていました。今日まではただ勉強しろ、と言っているだけだと思っていたけど、やっぱり社会で仕事をするときに勉強が出来ていないといけないとわかりました。(中学2年生)

#### ⑧近現代史と全教科にわたる基礎学力を身につけよう

- 今まで、私は勉強するのは誰かのためでした。いい点を取ると親が喜ぶ、良い学校に行けばそれだけで周りから頭がいいねと褒められる、それを望んでいただけなのです。しかし、〇〇さんに「勉強とは自分のためにするものだ」といわれ、分かりました。それに「基礎学力」が必要だということを知り、何も勉強しなくても人生に成功する人などいないのだとなと実感しました。また選択肢を広げることの大切さを学びました。私は世の中の仕組みが何も分かっていなかったと改めて痛感しました。(中学3年生)

- 先生(講師)のお話を聞いて、先生のように戦争時代を生きてこられた方々は、今の時代まで世界の流れに対応されながらここまで生きてこれたのだと知ることが出来ました。そして私の祖父、祖母も同じように、苦労や努力を積ん



できたということもわかりました。さらに、今の時代はモノがあふれていて、逆にモノを捨てることが多くなってしまったけれど、私たちの身の回りにあるものを大切に扱っていかなくては、昔の方々に申し訳ないなと思いました。これから日常生活を送っていくうえで、物を買うときはよく吟味して買いたいと思うし、使い方も丁寧にしたいなと思います。(中学3年生)

- 私は今まで自分の興味のある動物や音楽の分野のことしか見ていませんでした。でも、お話を聞いてからは、自分の将来の選択の幅を広げるためにも、もっと広い分野での学力をつけたり、いろいろなことに挑戦したり、まだ自分が知らない世の中の動きに目をこらしていこうと思います。(中学3年生)

#### ⑨時事問題への関心と読書の習慣をつけよう

- 環境問題、人口増加、日本と世界の貿易など、今の私たちにとって少し難しい問題かもしれませんが、大人になったら絶対向き合わなきゃいけない問題だと思いました。だから、どうしたらもっと日本が良くなるか考え、少しでも役立てたら良いと思いました。(中学2年生)

- 父も私によく読書をしろと言います。そして今日、〇〇さんも、私たちに「読書をしてください」と言ってくださって、改めて読書の重要性を認識しました。私はどちらかというと、本を読むのをめんどくさがってしまう方です。今日から読む暇がないといったつまらない理由はやめにして、本をたくさん読んでいきたいと思います。今日の話聞いて、教養ある大人になるためには、私たちに今からでもたくさん出来ることがあると学びました。ぜひ、これらを実践して、心も体も健康な人間になりたいです。(中学3年生)

以上

4. 「学校と企業・経営者の交流活動」  
実績表  
(1999年度～2009年度)

「学校と企業・経営者の交流活動推進委員会」講師派遣実績<総括表>  
(1999年度～2009年度)

## 実施件数

(件)

種別 対象	授 業				講演会・懇談会			その他	合計
	小学生	中学生	高校生	計	教員	保護者	計		
2009年度	1	51	35	87	41	8	49	8	144
2008年4月	0	0	1	1	0	0	0	1	2
5月	0	3	1	4	4	0	4	1	9
6月	0	5	5	10	3	0	3	0	13
7月	0	4	4	8	7	0	7	1	16
8月	0	0	1	1	5	1	6	0	7
9月	0	4	2	6	3	0	3	2	11
10月	0	4	2	6	1	0	1	1	8
11月	0	11	6	17	12	4	16	0	33
12月	1	0	1	2	0	0	0	1	3
2010年1月	0	6	3	9	2	0	2	1	12
2月	0	3	8	11	2	2	4	0	15
3月	0	11	1	12	2	1	3	0	15
1999年度	0	1	4	5	12	1	13	0	18
2000年度	0	4	6	10	17	2	19	0	29
2001年度	0	21	16	37	37	17	54	0	91
2002年度	0	15	10	25	28	7	35	1	61
2003年度	0	22	13	35	34	13	47	2	84
2004年度	0	14	20	34	36	6	42	2	78
2005年度	0	44	32	76	47	8	55	7	138
2006年度	1	50	29	80	53	7	60	6	146
2007年度	3	45	32	80	47	6	53	9	142
2008年度	4	42	25	71	46	10	56	13	140

## 講師人数

(人)

種別 対象	授 業				講演会・懇談会			その他	合計
	小学生	中学生	高校生		教員	保護者			
2009年度	3	162	66	231	51	8	59	10	300
2009年4月	0	0	5	5	0	0	0	1	6
5月	0	5	1	6	4	0	4	1	11
6月	0	14	10	24	3	0	3	0	27
7月	0	15	7	22	14	0	14	1	37
8月	0	0	1	1	5	1	6	0	7
9月	0	9	7	16	3	0	3	2	21
10月	0	18	2	20	1	0	1	1	22
11月	0	32	11	43	12	4	16	0	59
12月	3	0	5	8	0	0	0	1	9
2010年1月	0	22	3	25	2	0	2	3	30
2月	0	14	8	22	2	2	4	0	26
3月	0	33	6	39	5	1	6	0	45
1999年度	0	2	4	6	12	1	13	0	19
2000年度	0	14	6	20	17	2	19	0	39
2001年度	0	70	20	90	37	17	54	0	144
2002年度	0	56	10	66	28	7	35	1	102
2003年度	0	67	20	87	35	13	48	2	137
2004年度	0	77	40	117	47	6	53	7	177
2005年度	0	146	54	200	55	8	63	14	277
2006年度	1	143	41	185	59	7	66	6	257
2007年度	4	153	49	206	64	6	70	9	285
2008年度	5	134	60	199	65	13	78	13	290

## 5. 各地経済同友会の「交流活動」の状況

2009年7月、全国各地の経済同友会に実施した「学校と企業・経営者の交流活動」に関するアンケート調査によると、全国45の経済同友会のうち、東京を含め17の経済同友会が、何らかの形で「交流活動」を実践しています。

また、10の経済同友会が、個別の依頼に対応する形で実践しています。

# [各地同友会の「交流活動」の状況]

● 出張授業や講演を実施している(16団体)

2009年7月10日現在

団体名	開始時期/年間	実施件数	派遣対象	主な派遣先	特徴/今後の予定
岩手経済同友会	2005年12月頃～ 年間	14 6	経営者、社員	小学校、大学	・出張授業は休止中 ・岩手大学・岩手県立大学とのキャリア教育
秋田経済同友会	2005年6月頃～	21 5	経営者	中学、高等学校、大学 教育委員会、PTA	
栃木経済同友会	1999年10月頃～ 年間	146 20	経営者、社員	大学	
群馬経済同友会	2009年5月頃～ 年間	9 8	経営者	中学校 高等学校	
神奈川経済同友会	2007年11月頃～ 年間	5 4	社員	中学校 高等学校	職場見学、職場体験(中学校) インターンシップ(高等学校)
富山経済同友会	2002年1月頃～ 年間	130 20	経営者	小学校、中学、高等学校 教育委員会、PTA	
福井経済同友会	2000年10月頃～ 年間	83 10	経営者・社員	高等学校、高等専門学校、大学 教育委員会、PTA、自治体	
中部経済同友会	1988年1月頃～ 年間	35 4	経営者	中学・大学	
滋賀経済同友会	2008年10月頃～ 年間	7 1	経営者	大学	
京都経済同友会	2004年4月頃～	30	経営者・社員	小学校、中学、高等学校 大学、教育委員会	
島根経済同友会	2006年11月頃～ 年間	14 5	経営者	大学	
岡山経済同友会	1995年11月頃～ 年間	350 60	経営者・社員	高等学校、大学	
土佐経済同友会	2007年4月頃～ 年間	60 -	経営者・社員	小学校、中学、高等学校、 専門、大学、教育委員会、PTA	
福岡経済同友会	2004年9月頃～ 年間	54 11	経営者	高校、PTA	
佐賀経済同友会	2001年4月頃～ 年間	13 -	経営者・社員	中学、高等学校、大学 教育委員会	
大分経済同友会	1992年10月頃～ 年間	344 26	経営者	大学	

● 個別に出張授業や講演を実施している(10団体)

団体名	開始時期/年間	実施件数	派遣対象	主な派遣先	特徴/今後の予定
山形経済同友会	△個別依頼で派遣				○今後検討したい
埼玉経済同友会	△個別依頼で派遣				○今後検討したい
神戸経済同友会	△個別依頼で派遣				×今後の予定は特になし
奈良経済同友会	△個別依頼で派遣				○今後検討したい
鳥取経済同友会	△個別依頼で派遣				○今後検討したい
広島経済同友会	△個別依頼で派遣				○今後検討したい
山口経済同友会	△個別依頼で派遣				○今後検討したい
徳島経済同友会	△個別依頼で派遣				○今後検討したい
香川経済同友会	△個別依頼で派遣				×今後の予定は特になし
長崎経済同友会	△個別依頼で派遣				×今後の予定は特になし

## 6. 「教育フォーラム(第1回～第4回)」 記事(機関紙『経済同友』)より抜粋

本委員会では、「教育フォーラム」を、2006年度から毎年3月に開催しています。

本フォーラムには、生徒、教員、保護者をはじめ、多数が参加し、活発な意見交換が行われています。

# 3 教師、生徒、保護者を招いた 初の試み「教育フォーラム」を開催

「学校と企業・経営者の交流活動推進委員会」(遠藤勝裕委員長)は、2003年度より、1年間の活動の締めくくりの意味も込めて、毎年度末に教育関係者を招いたパネルディスカッションを開催してきた。4回目となる2006年度は、これまでとはまったく異なる趣向で、3月24日に「教育フォーラム」を開催。教師、生徒、保護者を迎え、経営者と語り合う場を設けようという意欲的な試みであり、昨年12月から、その準備に取りかかった。当日は、教師・生徒・保護者ら150名以上が集まり、普段は接することのない人々との交流が実現した。



何のために「学び」  
何のために「働く」のか

今回の教育フォーラムには、応募で集まった中学生・教師・保護者140名と、交流活動推進委員会のアドバイザー、交流のある教育関係者約20名が参加した。経済同友会からは、北城代表幹事と交流活動推進委員会の委員10名(右頁参照)が出席した。

開会の挨拶に立った遠藤委員長は、交流活動の目的とこれまでの経緯を紹介した上で、まず、生徒に向けて「将来、自分がどんな仕事をしたいか考えたことはあるだろうか? このフォーラムが、将来の進路を考えるための手助けとなれば嬉しい」と呼び掛けた。また、学校関係者および保護者に対しては「これからの社会で求められる人材と教育のあり方について語り合えるこの機会を大切にしたい」と語り、学校・保護者・経営者が一堂に会することの意義を訴えた。

続く第1部では、1999年の交流活動開始当初より自ら率先して出張授業に出向いている北城格太郎代表幹事が、『これからの国際社会

## 教育\*フォーラム

### 「働くことについて考えよう ~将来、社会に出て活躍する若者へ~」

- 第1部 基調講演 北城格太郎代表幹事  
「これからの国際社会に生きる君たちへ~人は何のために働くのか~」
- 第2部 経営者とのグループディスカッション  
◇生徒グループ『働くってどういうこと?』  
◇教員グループ『これからの社会で求められる能力と教育のあり方』
- 第3部 交流会

に生きる君たちへ~人は何のために働くのか~』というテーマで基調講演を行った。

講演を聞いた生徒たちからは、「人生にはきっかけがある。それをとらえて活かすという言葉が印象に残った」「働くためには、学力・知識だけでなく、思いやりやコミュニケーション力などが必要だということがわかった」といった感想が寄せられた。また、教師や保護者の間では、「自ら正解のない課題に取り組み、考え、行動する力をつけてこそ、初めて社会で通用する人材になることを再確認した」「勉強の必要性を経営者の視点からわかりやすく説明してもらったことが生徒には新鮮に映ったはず」(教師)、「有名な学校に進むのではなく、どんな仕事をした

いかで進路を決めることが重要だと痛感した」(保護者)といった声が目立った。

経営者と生徒・教員が  
本音で真剣に討論

第2部は、参加者が10名程度のグループに分かれ、それぞれのグループに交流活動推進委員会の委員1名が講師として加わるという形式のグループディスカッションを行った。

6つの生徒グループでは、講師それぞれの個性あふれるスタイルで『働くことの意味』を一人ひとりに考えさせ、意見を出し合った。最初は緊張気味だった生徒も、自己紹介を行い、言葉を交わすうちに打ち解けた雰囲気となり、身振り手振りを交えて熱く語りかける講師に刺激され、次第に大きな声





とについてどう考えているかを知ることができた」「働くことは大変なことだと思っていたが、それ以上に喜びややりがいがあることを知った」「違う学校の人の考えや意見を聞くことができて良かった」など、前向きな感想が多く寄せられた。

で発言するようになっていった。また、そうした子どもたちを頼もしく見守る保護者の姿も印象的だった。

一方、『これからの社会で求められる能力と教育のあり方』をテーマにした4つの教員グループでは、講師側の問題提起から議論が始まった。「実社会から教育現場はどう見えているか」という観点から、厳しい指摘も出てきた。教師側からも、実社会と学校教育とのギャップ、公教育のレベル低下、学校を取り巻く地域の現状、生徒の意識の変化など多くの問題が提起された。その後、「今の教育現場に対して企業・経営者・地域の大人として何ができるか」「どの問題から手をつければいいのか」などを巡って意見が交わされた。

グループディスカッションに参加したのは、出張授業を行った実績のある学校の校長や教諭がほとんどで、経済同友会の交流活動に対する信頼感を持っており、率直に意見が出せたようだ。また、経

営者との交流が学校現場に与える好影響を認識しているという点から、学校と企業や社会との連携について実りある議論となった。

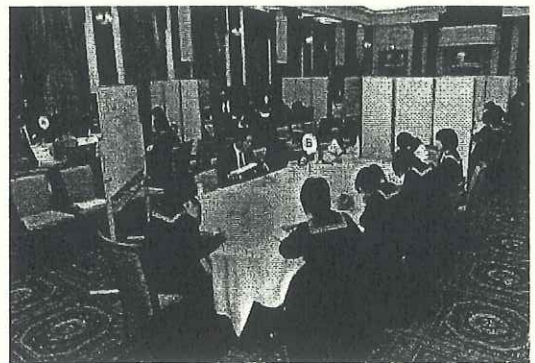
#### 入念な準備の下で より実りのある交流活動を

今回の教育フォーラム開催にあたっては、事前にアンケートを実施。生徒には、所属部活・得意な科目・将来の夢・経営者への質問を、教師には担当教科・モットー・経営者への質問を記入してもらい、同じグループの参加者に配布した。こうした事前資料が用意されたことで、各グループでの議論が中身の濃いものとなり、特に、生徒グループでは、生徒の関心に沿った話の方向付けに役立った。

ディスカッション終了後に参加者全員にアンケートを実施したところ、生徒からは「自分の考えを深められた」「みんなと同じでなくてもいいことに気づいた」「失敗を恐れず挑戦することは、自分の世界を広げることだということが分かった」「同い年の仲間が、働くこ

一方、教師からは「これから社会で生きていくために何が求められているのか、子どもたちをどう育てていくかを整理する良い機会となった」「私立・公立に関係なく、他の学校が抱えているいろいろな問題を知ることができた」など、今回の企画を評価する意見が大半であった。

今回の講師を務めた10名の委員もそれぞれに確かな手応えを感じたようで、最後に行われた交流会では、参加者と談笑する様子が随所で見られた。経済同友会として初の試みであったが、参加者一人ひとりにとって意味のあるフォーラムになったと言えるだろう。



#### 教育フォーラム参加講師

遠藤勝裕氏  
(日本証券代行 取締役相談役)

大塚良彦氏  
(大塚産業クリエイティブ 取締役社長)

尾原香子氏  
(IFI(財)ファッション産業人材育成機構)  
IFIビジネス・スクール 学長

小林いずみ氏  
(メリルリンチ日本証券 取締役社長)

小林恵智氏  
(インタービジョン 取締役会長)

同前雅弘氏  
(大和日英基金 副理事長)

西田一郎氏  
(国際基督教大学 理事・総務副学長)

野呂正則氏  
(大星ビル管理 取締役社長)

茂木賢三郎氏  
(キックマン 取締役副会長)

山中信義氏  
(日本コンラックス 取締役会長)

(以上10名、学校と企業・経営者の交流活動  
推進委員会 委員長、同 副委員長、運営委員)

経済同友会「学校と企業・経営者の交流活動推進委員会」主催

# 「教育フォーラム」

中学生・先生・保護者を招き開催

**学** 校と企業・経営者の交流活動推進委員会(以下、推進委)は、3月8日、中学校の生徒、先生、保護者を招いて、「教育フォーラム」を日本工業倶楽部で開催した。昨年度に続き2回目となる教育フォーラムは、生徒と先生がそれぞれのテーマについて、経営者を交えて考えていくオープンな場となった。生徒のテーマは「勉強するのは何のため? 働くってどういうこと?」、先生のテーマは「これからの社会で求められる力と教育のあり方」。

当日は、推進委が行う出張授業などで交流実績のある学校を中心に、都内・都下・埼玉・千葉の公立校22校、都内の私立校2校から、教員45名、生徒47名が集まった。ほかに、推進委のアドバイザー、学校等教育関係者、推進委委員も多数出席。参加校数は昨年を上回り、活動の広がりを示す形となった。

プログラムは講演とグループディスカッションという内容。「グローバル時代の実社会ではどういった力が必要なのか」という、総論部分を基調講演で提示し、グループディスカッションでは個人の問題意識に基づいた各論部分について、経営者とともに語り合っていこうという趣向だ。基調講演の講師は小林いずみ氏(副代表幹事・教育問題



(写真上) 教育フォーラム第1部基調講演の様子。  
(写真右) 交流会であいさつする遠藤勝裕委員長。遠藤氏は第2部で、教員グループの講師も務めた。「教育は家庭、学校、企業、地域社会の共同責任」とし、その中で教育現場と企業の役割を考えた。



## ●プログラム

【第1部：基調講演】「グローバル時代に求められる生きる力」  
小林いずみ氏(副代表幹事/メリルリンチ日本証券取締役社長)

【第2部：グループディスカッション】

- ◆生徒グループ  
「勉強するのは何のため? 働くってどういうこと?」
- ◆教師グループ  
「これからの社会で求められる力と教育のあり方」

### <講師>

遠藤勝裕氏  
(日本証券代行 取締役相談役)  
大塚良彦氏  
(大塚産業クリエイツ 取締役社長)  
木村廣道氏  
(ライフサイエンスマネジメント 取締役社長)  
小林いずみ氏  
(メリルリンチ日本証券 取締役社長)  
小林忠智氏  
(インタービジョン 取締役会長)

斎藤博明氏  
(TAC 取締役社長)  
建部信也氏  
(スリー・アール 取締役会長)  
中村紀子氏  
(ボビンスコーポレーション 代表取締役)  
廣瀬駒雄氏  
(ジョイント・コーポレーション 取締役)  
山中信義氏  
(日本コンラックス 取締役会長)

### 交流会

委員会委員長)が務め、グループディスカッションの講師は10名の推進委メンバーが務めた。

第2部終了後には交流会が開かれ、参加者も講師もくつろぎながら語り合った。あいさつに立った推進委委員長の遠藤勝裕氏は、「先生方との今日の議論を

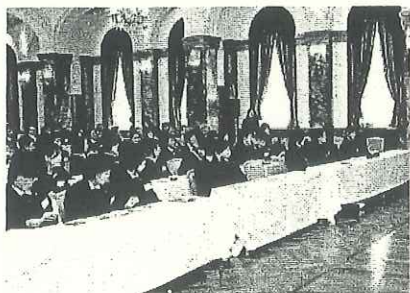
通じ、問題の本質は教育行政や家庭にあるのかもしれないと感じた。今後も教育現場をサポートし、経営者の立場から問題解決のお手伝いをしていきたい」と述べ、学校と企業・経営者の交流活動に引き続き積極的に取り組む意欲を示した。

## グローバル時代に 求められる生きる力

今は、世界中から人や材料や資金を集めて製品を作り、その製品が世界に向けて流れていく時代です。物やお金や情報には国境がほとんどありません。それが「グローバル時代」です。

私が働いている「メリルリンチ」という証券会社は、アメリカに本社があって、世界37カ国で仕事をしているグローバル・カンパニーです。日本では約1500名が働いていて、そのうち250名は外国人で32カ国から来ています。そうした会社で働いてわかったことは、いろいろな価値観があり、いろいろな考え方をしている人がいるということです。

以前、こんなことがありました。日本のお客さまから「本社からの入金が入り足りない」という苦情がきたのです。日本人の感覚では、たとえ1円でも金融機関からの入金額が約束と違うのは大問題。あわててアメリカの本社に「至急、1円を振り込んでほしい」と伝えると、「手数料を20ドルかけて1円を送金するのは不合理だ」と言われま



した。この場合、どちらの考え方もそれぞれに正しいのですが、ものの価値の測り方が違っているのです。実際の世の中は、問題に対する答えがひとつではありません。では、どうするか？話し合っ、互いに納得できる答えを見つけ出すしかないのです。これが、グローバル社会で生きるということです。ちなみに、1円は、次回の振り込みの時に精算することになりました。

いろいろな国の人と話し合うには、コミュニケーションの力が必要です。英語が話せることも重要ですが、それ以上に大事なものは、相手のものの考え方を理解することです。また、自分をわかってもらえるように相手に伝えることも、同じくらい大事です。これがグローバル社会で必要とされる力のひとつです。その時に、伝えようとする自分の意見がなければ、相手には何も伝わりません。例えば会議などでは、発言しなければ参加していないのと同じと思われてしまいます。日本以外の国の人は、「この人が発言しないのは、意見がないからだろう」と考えるのです。自分の意見を持ち、そしてしっかりと表現する力を身に付けることが必要でしょう。

自分が意見を言う時に、他人と意見が違うのは当たり前のこ



とです。同じように、人に得意・不得意があるのも当たり前のことです。それを認め、そして、他人とは違う自分に誇りを持ってほしいと思います。

自分ができないことは他人に助けてもらい、自分が得意なことで他人を助けていく——こうしてチームワークが生まれます。「アメリカ人は個人主義で、チームワークが苦手」というのは間違いです。アメリカ人は、自分にできることとできないことがあるのを素直に認めています。他人に頼む勇気と責任を持つことも大事です。

グローバルな社会には、これまで知らなかったことがたくさんあります。新しいことを恐れず、とにかく挑戦してみてください。その中で自分の新しい能力を発見するかもしれません。失敗しても、どうすればうまくいくのかを考えるきっかけになります。自分の意志で挑戦して成功した時の喜びは大きく、次の挑戦への意欲が湧いてくるのです。

生徒  
グループ

## 勉強するのは何のため？ 働くってどういうこと？

教員  
グループ

## これからの社会で求められる力と 教育のあり方



### 参加者への事前アンケートで 充実したグループ討論

グループディスカッションは生徒と先生がそれぞれ8～9名に分かれ、講師役の経営者と討論を行った。

テーマは、生徒グループが「勉強するのは何のため？働くってどういうこと？」、教員グループが「これからの社会で求められる力と教育のあり方」。約2時間にわたり、各グループとも真剣な意見交換が行われた。

フォーラムの開催に当たって、参加希望者に対して事前アンケートが実施されており、生徒であれば「将来、何になりたいのか」、先生であれば「教育現場で感じる悩みや問題」などについ

て、情報や意見の収集は済ませていた。講師は全員、アンケート回答に目を通した上で、討論用に論点を整理した配付資料を作成し、グループディスカッションに臨んだ。中には、アンケートに書かれていた先生からの質問に対し、経営者としての回答を詳細に用意していた講師もいた。こうした参加者・主催者両者の準備によって、初対面同士であるにもかかわらず、密度の濃い話し合いが可能となった。特に生徒グループの方は、討論開始直後は緊張して発言も少なかったが、アンケートの回答を元に講師が一人ひとりに語りかけていく中で、次第に発言が活発になるようになっていった。

### 生徒グループの感想

「たくさんの人の意見を聞くことができたこと、自分の意見も聞いてもらったことがよかった」  
 「初めて学校外の話し合いでしたが、とても楽しく、参加してよかったと思いました」  
 「私達には可能性がたくさんあるということ。自分に少し自信が持てるようになりました」  
 「普段あまり考えたことのない話を深く考えさせられました。こういう機会がほかにもあったらいいと思います」  
 「少し緊張した。明日からの私はたぶん違っていると思う。これを生かしていきたい」  
 「普段自分の思っていることをいえないけれど、こういう場で正直に思っていることを言えた」  
 「将来についての相談に対していいアドバイスがもらえた」

### 先生グループの感想

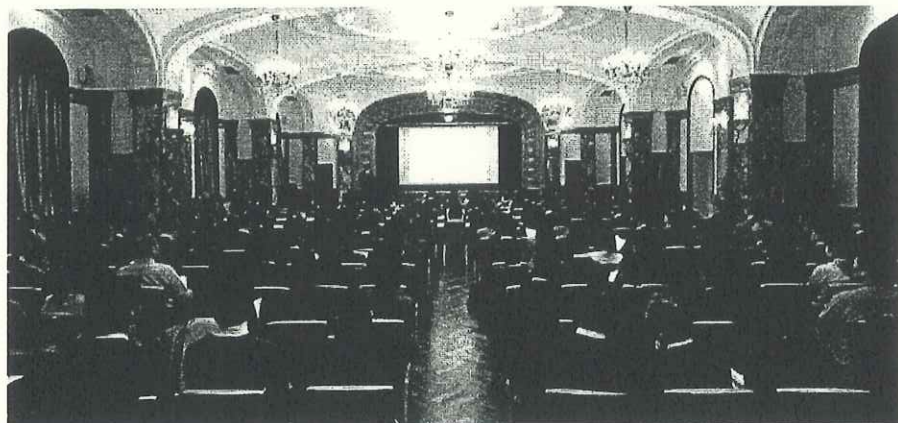
「立場や職責の違うメンバーがひとつのテーマに沿って意見や考えを出し合うことは素晴らしいと思う」  
 「教員だけのディスカッションと違い、幅広く意見が出た。こういう会は疲れるが楽しい」  
 「企業が『自分で考える人材』を求めていると聞きました。私自身が抱えている想いに関連したお話をたくさん聞くことができ、たいへん貴重な機会でした」  
 「自分の学校経営に足りなかった部分が見えてきました」  
 「学校にはさまざまな課題があるが、参加者各人がなんとか変えていこうとする考えを持っており、心強く感じた」  
 「教育界では使わないキーワードを知ることができた。教師としての使命感を新たにしたい」

教育フォーラム「学校と企業・経営者の交流活動推進委員会」主催

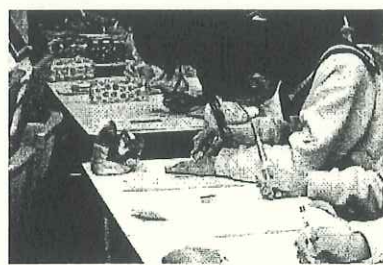
第3回「教育フォーラム」開催

「勉強するのは何のため? 働くってどういうこと?」

学校現場や教育関係者との交流を推進している「学校と企業・経営者の交流活動推進委員会」は、中学生・教員・保護者を招いて「教育フォーラム」を開催し、学校や企業、社会について活発な意見交換を行った。



開会のあいさつで山中委員長はフォーラム開催の趣旨を説明。パネル・ディスカッションでは教員グループの講師として意見交換を行った



プログラム

- 第1部:基調講演  
「これからのグローバル社会に生きる君たちへ  
～何ごとも疑問(はてな?)から始まる～」  
代表幹事 桜井正光氏(リコー 取締役会長執行役員)
- 第2部:グループ・ディスカッション  
◇生徒グループ  
「勉強するのは何のため? 働くってどういうこと?」  
◇教員グループ  
「これからの社会で求められる力と教育のあり方」  
◇保護者グループ  
「これからの社会で求められる力と教育のあり方」

参加講師

50音順 ※所属・役職は開催当時

- 大塚良彦氏(大塚産業クリエイツ 取締役社長)
- 尾原容子氏(IFI[ファッション産業人材育成機構] IFIビジネス・スクール 学長)
- 小林恵智氏(ヒューマンロジック研究所 取締役会長)
- 近藤 章氏(AIGイースト・アジア・ホールディングス・マネジメント 副会長)
- 永田順子氏(日本航空インターナショナル 執行役員)
- 林 明夫氏(開倫塾 取締役社長)
- 藤田 實氏(オグルヴィ・アンド・メイザー・アジアパシフィック 取締役 リージョナルディレクター)
- 船津康次氏(トランスコスモス 取締役会長兼CEO)
- 前原金一氏(昭和女子大学 副理事長)
- 茂木賢三郎氏(キックマン 取締役副会長)
- 山中信義氏(バインキャピタル・ジャパン 副会長)
- 吉村幸雄氏(日興シティホールディングス ガバメント・アフェアーズ担当執行役員)

広がりを見せる推進委の活動

3月14日、「学校と企業・経営者の交流活動推進委員会(以下、推進委)」(山中信義委員長/バインキャピタル・ジャパン副会長)は、中学生・教員・保護者を招き、日本工業倶楽部において「教育フォーラム」を開催した。

昨年度に続く第3回となる教育フォーラムには、関東地区にある中学校から、教員52名、生徒65名、保護者16名が参加したほか、学校教育関係者や推進委メンバーも多数出席、参加者数は前回は上回った。推進委は、主に中学生・高校生を対象とした出張授業や教員研修会、保護者対象の講演活動などを行っており、その地道な活動の広がりを示すかたちとなった。

フォーラムのテーマは生徒と教員でそれぞれ異なり、生徒のテーマは「勉強するのは何のため?働くってどういうこと?」、教員・保護者は「これからの社

会で求められる力と教育のあり方」をテーマにディスカッションを行った。

## 和やかで有意義なフォーラム

プログラムは、第1部「基調講演」と第2部「グループ・ディスカッション」の2部構成。基調講演は桜井正光代表幹事が務め、「これからのグローバル社会に生きる君たちへ～何ごとも疑問(はてな?)から始まる～」というテーマで、学

ぶことと働く(仕事)ことについて、中学生でも理解しやすい言葉で講演した。

講演後の質疑応答では、「仕事が楽しくなったきっかけ」「経験した中で、一番達成感のあった改善策は」という質問に、桜井代表幹事は具体例を挙げて応えていたが、「野球選手が夢だったのに、先生に言われてサラリーマンになったそうですが、夢を見ることと、現実を見ること、私たちにどちらを選んでほしいですか」の質問には苦笑

を浮かべ、会場の雰囲気は一気に盛り上がった。

第2部「グループ・ディスカッション」は、生徒・教員・保護者それぞれがグループに分かれ、講師を務める推進委メンバーを中心にディスカッションを行った。

さらに、第2部終了後には交流会が開かれ、参加者も講師も和やかな雰囲気です話し合い、学校関係者と企業経営者との交流を深めて閉会した。

### 第1部 基調講演

## これからのグローバル社会に 生きる君たちへ

～何ごとも疑問(はてな?)から始まる～

### 桜井正光 代表幹事

(リコー 取締役会長執行役員)

皆さんは将来、学校を卒業して社会人になりますが、今日は「働く(仕事)ということ」「グローバル時代に生きる」「学ぶことの大切さ」、そして「皆さんへのお願い」についてお話します。

#### ●働く(仕事)ということ

仕事とは、他人や社会の役に立つことをすることです。そして、その成果に見合った報酬をもらいます。したがって、役立っていないときは低く、成果が大きいほど評価も報酬も高くなります。

成果の大きさは他人であるお客様が決めます。仕事は自分で探すことが大切で、お客様は誰か? 自分に何を求めているのか? 何が出来るのか? とお客様のニーズを探り、お客様の要望にお応えするサービスや商品を提供し、社会の役に立つ仕事をしてください。

#### ●グローバル時代に生きる

グローバル時代は、経済社会が地球規模になり、世界全体がレベルアップし、生活も便利になり企業活動も活発化します。その一方で、地球温暖化問題、世界の貧富格差など、地球規模での難問が表れます。現在の世界同時不況はまさにその典型です。

日本は、アメリカに次ぐ経済大国ですが、それを維持・発展させるには、世界が平和で安定し、開放的なグローバル社会であることが大切です。その社会に必要なのは、世界の国や地域によって異なる価値観を理解し、世界的な視野で判断して行動することです。

日本は、アメリカに次ぐ経済大国ですが、それを維持・発展させるには、世界が平和で安定し、開放的なグローバル社会であることが大切です。その社会に必要なのは、世界の国や地域によって異なる価値観を理解し、世界的な視野で判断して行動することです。

#### ●学ぶことの大切さ

自分の周りで起こることに疑問や好奇心、問題意識などを持ち、理解するには基礎知識が必要です。また、問題を解決する方法や行動も、基礎知識がなければ発想できません。皆さんは今、その大切な基礎知識を学んでいるのです。

学校での勉強だけが“学び”ではありません。遊びでも旅行をしているときで



も、その時その場で抱いた好奇心や疑問が学びにつながります。したがって、いつも問題意識を持って物事を見るように心がけてもらいたと思います。

#### ●皆さんへのお願い

目標が達成できなくても、常に前向きでチャレンジ精神を持ってほしい。達成できるのは多くて2割ぐらいです。この数字をどう見るかが問題です。失望してチャレンジを諦めてしまう人は問題外です。目標に確実に一步近づいた、これを積み重ねて100%達成に向けて前進しよう、という前向きな姿勢でいてほしいと思います。

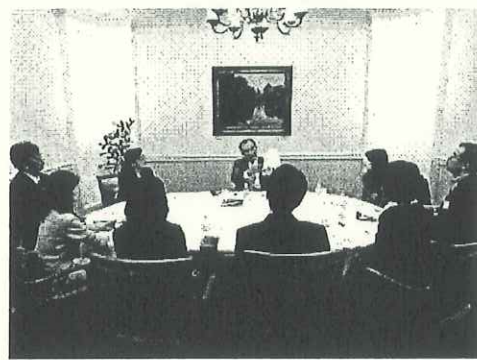
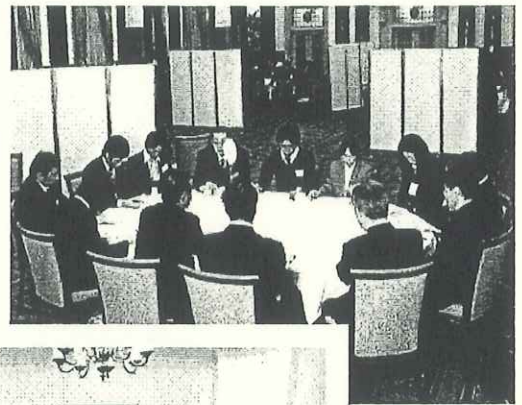
そして、一步一步進んでいる自分を褒めてあげてください。「毎日まいにち自分を褒めてやろう!」と、心掛けて暮していくことが大切です。

## 第2部 グループ・ディスカッション

### テーマ

◇生徒グループ  
「勉強するのは何のため？ 働くってどういうこと？」

◇教員グループ・保護者グループ  
「これからの社会で求められる力と教育のあり方」



生徒・教員・保護者に分かれたグループでは、講師の経験も踏まえて活発な意見交換が行われた

### スムーズな進行で 活発な意見交換

第2部「グループ・ディスカッション」には、生徒63名、教員40名、保護者16名が参加。それぞれが10名前後でグループを構成して討論を行った。

生徒グループでは、仕事や会社につ

いての素朴な質問が多く、講師は自分が歩んだ道を振り返りながら、身近な例を挙げて丁寧に応えていた。一方、教員グループでは、社会や企業で求める人材に論点が集まる。講師は、企業経営者の視点から意見を述べた。また、保護者グループでは、社会に役立つ子育て論が展開された。

フォーラム開催にあたって、参加希望者には事前アンケートを実施していたため、初対面にもかかわらず意見交換はスムーズに進行し、例年にも増して、教育現場と経営者との熱心で自由闊達な議論が展開された。

### 生徒グループの感想

- ・ 人生の目的というものを考えたことがありませんでしたが、真剣に自分を見つめることができたので、とても良かったです。(3年・女子)
- ・ 社会に出てから、どのようなことが必要なのか、今、学んでいることの意味について知ることができ、将来に向けてがんばりたいと思いました。(3年・女子)
- ・ 普段、話をするなどない経営者の方としっかりと話すことができるというのは、新鮮で、すばらしい体験でした。(3年生・男子)
- ・ 勉強するのは何のためか、あんまり考えたことがなかったけど、今回の話を聞いて、将来、社会に出てだれか人の役に立つために、もう少し勉強をがんばってみようと思いました。(1年・女子)

### 教員グループの感想

- ・ 先生の背骨となるしっかりしたポリシーを感じる事ができたディスカッションでした。日本の文化をきちんと理解し、発信できる生徒になって欲しいと思っています。(私立中高一貫校・主任)
- ・ これからの社会で求められる人材の育成において、必要なことは理解できたが、学校の実情でさまざまな壁があることも事実。それでも希望を捨てずに指導していこうと思える有意義なものであった。(私立中高一貫校・主任)
- ・ トップの方々の視点、人格、包容力など、人間性の大きさに出会い、希望がみえました。(公立中・副校長)
- ・ 教育に対するの厳しい見方が参考になった。企業家の教育への期待のあらわれと考えている。(公立中・校長)

### 保護者グループの感想

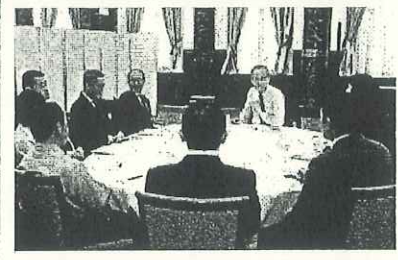
- ・ 家庭と学校では学ぶことのできない世界情勢や経済のお話を聞かせていただいて、とても勉強になりました。広い視野を持って子どもを育てていかなければ、と思いました。(公立中・PTA会長)
- ・ 社会に向けて、子どもたちをどのように家庭の中で育てていくのがいいのか、一人の人間として接していく必要に気づいた。(公立中・保護者)
- ・ 当たり前のことではあるが、学校・家庭・社会が一緒になって、子どもたちの環境を作らなければいけないと再認識できました。(公立中・PTA会長)
- ・ 自分の狭い世界で生きていること、視野の狭さ、お恥ずかしいことばかりでしたが、とても勉強になりました。(公立中・PTA副会長)

「学校と企業・経営者の交流活動推進委員会」主催

第4回「教育フォーラム」開催

# 「学ぶこと・働くことの意義」を 問い掛け気付きの機会に

「出張授業」などで教育現場との交流を続けている「学校と企業・経営者の交流活動推進委員会(以下、推進委)」は、3月13日(土)、日本工業倶楽部において、中学生、教員、保護者を招き、「教育フォーラム」を開催した。



## 中学生75名が熱心に聞き入る

参加者は、関東地区の中学校から中学生75名、教員49名、保護者10名にのぼったほか、教育関係者や推進委メンバーも多数出席した。

第1部では、浦野光人氏(ニチレイ取締役会長)が「『解』のない時代を生きるための力」と題した基調講演を行った。約50分の講演時間を、生徒たちは集中力を途切らせることなく聞き入り、講演の後、活発な質問が出された。

第2部では、生徒、教員、保護者が約10名ずつの班に分かれ、推進委のメンバーが講師として各班に加わり、グループ・ディスカッションが行われた。事前にアンケートで、生徒には「将来、何になりたいのか」、教員には「教育現場で感じる悩みや問題」などを聞いており、講師はアンケートに目を通して本番に臨んだ。教員と保護者グループは、日頃の問題意識を講師に投げかけていた。

### プログラム

#### ■第1部:基調講演

「『解』のない時代を生きるための力」  
地球環境問題委員長 浦野 光人(ニチレイ 取締役会長)

#### ■第2部:グループ・ディスカッション

◇生徒グループ  
「勉強するのは何のため? 働かってどうこと?」  
◇教員グループ/保護者グループ  
「これからの社会で求められる力と教育のあり方」(共通)

### 参加講師

50音順 ※所属・役職は開催当時

#### 〈生徒グループ・ディスカッション担当〉

- 岩尾 啓一 (キャリア工学ラボ 取締役社長)
- 岩下 正 (ローン・スター・ジャパン・アキュジションズ 会長)
- 浦野 光人 (ニチレイ 取締役会長)
- 喜吉 憲 (カルチュア・コンビニエンス・クラブ 顧問)
- 小林 恵智 (ヒューマンロジック研究所 取締役会長)
- 永山 妙子 (ファースト エグゼクティブ リミテッド 代表取締役)
- 廣瀬 駒雄 (ディレクトフォース シニアフェロー)

#### 〈教員グループ・ディスカッション担当〉

- 木村 廣道 (ライフサイエンスマネジメント 取締役社長)
- 同前 雅弘 (大和日英基金 副理事長)
- 茂木 賢三郎 (キックマン 相談役)
- 吉村 幸雄 (シティグループ・ジャパン・ホールディングス 執行役員 ガバメント・アフェアーズ担当)

#### 〈保護者グループ・ディスカッション担当〉

- 山中 信義 (ベインキャピタル・ジャパン 副会長)





# 「『解』のない時代を生きるための力」

地球環境問題委員会 委員長  
 浦野 光人氏(ニチレイ 取締役会長)

## なぜ学ぶのか？

講演のテーマで、「解がない」と言っていますが、実は解はあります。100人いたら100通りの解がある。「解がない」というのは「幾通りもの解がある」ということです。では、皆さんは、なぜ勉強するのですか？この問いにも100人いたら100通りの答えがあるでしょう。私なりに要約すると、勉強をする理由は三つあると思います。

一つは、自分がやりたいことを見つけるためです。まだ将来が定まってない人、あるいは複数の夢がある人の場合は、これから勉強をしていく過程で夢が固まっていくでしょう。

もう一つは、すでに夢を持っている人の場合、その夢に、より確実に近づくためです。例えばサッカー選手になりたいという夢があるなら、どんな練習メニューがいいか、戦術はどう組み立てるかなどを考えることそのものが勉強です。さらに食事や栄養についても理解と知識が必要でしょう。

最後は、先人の知恵を「自分のもの」にするためです。人類が誕生したのは500万年前。土器の作り方、狩りの仕方、農業の仕方など、いにしえの人が積み重ねてきた知恵があります。昔の人は、「人はなぜ生きるのか」という問題にも回答を出してきました。それをまとめたのが哲学という学問です。今後、いろいろと悩むことも多いでしょうが、先人の知恵を学ぶことで、同じことに悩まずに済んだり、自分なりの答えを絞り出したりできるのです。

## たくさんの失敗をしてほしい

私が皆さんに望むことは、たくさんの失敗をしてほしいということです。そもそもチャレンジをするから失敗をするのであって、チャレンジしなければ失敗ありません。なぜ失敗したのか。反省する過程で分析力が磨かれ、「なにくそ」という勇気もわいてきます。だから、ちょっぴり難しいことに挑戦してほしいと希望します。

日本は、明治維新後140年間、戦前は富国強兵、戦後も経済成長という一つの目標に向かってまい進し、豊かな国家になりました。しかしバブル経済の崩壊時以降、一つの目標だけでやっていくことは難しくなっています。国内では少子・高齢化、地球規模では地球温暖化など課題も山積しています。こうした問題は、人類が初めて直面する課題だからこそ、解決に向けて挑戦する者には失敗もあるでしょう。ぜひ、失敗を恐れずチャレンジし、仮に失敗してもそこから学んで欲しいと思います。

イギリスの経済学者、アルフレッド・マーシャルは、「Cool Heads, but Warm Hearts」という言葉を残しています。社会で活躍するには、「冷静に考える頭脳と温かい心」の両方が必要だと言っているのです。こんな言葉も、参考にしてください。ただ、ここで私が話したことも考え方の一つに過ぎません。参考にしながらも、あくまで自分の頭で考えることが大切です。

## 質疑応答

Q 浦野先生は今どんな課題にチャレンジしていますか。

A 経済同友会で地球環境問題を考える委員会に参加して、どうすれば今の便利な生活を保ちながら、温室効果ガスを減らせるか。そんなことを一生懸命に考えています。

Q リーダーシップのほかに経営者に必要なものは何ですか。

A まず体力がベースです。好奇心も大切。そして「なぜなんだろう」という疑問を持つこと。皆さんも疑問に思ったことは、お父さん、お母さん、先生方とたくさん話してください。

Q 手段と目的を分けることが大切だが、いつの間にか手段が目的になってしまうとお話でした。目的を明確に持ち続けるにはどうすればいいのでしょうか。

A 哲学を持ち、何のために生きるのかを考え抜くことです。ぜひ哲学や宗教の古典を読んでほしい。孔子やソクラテスはた

くさん本を残しています。それら古典も一つのきっかけにし、自分自身で生きる目的を考えてほしいと思います。

Q 地球温暖化以外に地球の課題はありますか。

A 貧富の差の問題があります。貧しい環境に置かれた子どもたちの問題解決のため、医療・食糧・教育などの分野で多くの人が努力していますが、問題解決は道半ばです。では、地球が一つの国になると解決するのでしょうか？ すごく大きな問題です。将来を担う皆さんも考えてください。

Q 今の若者に足りないものは何だと思いますか。

A 積極的なチャレンジが少ないと思います。鉄棒の逆上がりができず悔しくて何度も練習するとか、勉強を頑張る、スポーツで成績を上げる — みな素晴らしいことです。失敗を恐れず、少し難しいことにチャレンジしてください。

## 第2部 グループ・ディスカッション

### テーマ

◇生徒グループ

**「勉強するのは何のため？ 働くってどう  
いうこと？」**

◇教員グループ/保護者グループ

**「これからの社会で求められる力と教育  
のあり方」(共通)**

### 自身の経験も交えて 熱く意見交換

第2部は、生徒7班、教員4班、保護者1班に分かれ、グループ・ディスカッションを行った。

生徒グループのディスカッションは、講師と生徒の自己紹介から始まった。初めは緊張していた生徒たちだが、講師のリードもあり、次第に積極的に発言をするように。各自が普段疑問に思っていることや将来の夢に関連する質問な

どを投げかけ、講師も自身の経験などを交えながら丁寧に答えていた。

また、教員や保護者のグループでは、参加者の問題意識も高く、活発な議論がなされた。講師からは、基礎教育の不徹底、大人社会の規範意識の劣化などを問題提起し、教員からは現場の事例が報告され、熱のこもった意見交換であった。

第2部終了後の交流会では、参



加者同士が和やかに談笑する様子が随所で見られた。第1部から休憩も挟み約5時間と長時間におよぶ「教育フォーラム」だったが、参加者の満足度は高く、活気にあふれた会合となった。

### 生徒の感想

- 自分の責任や過ちを知ることとはとても大切であり、自立や自律が今、求められていると思いました。知・徳・体をバランスよく揃えている人材は貴重で、これから社会、国、世界を作っていくのに絶対に必要だと教えられました。(私立中・女子)
- 社会に出ると、どんなことにも答えがないということに驚きました。答えがないのに、どうやって物事を進めるのか疑問に思いました。社会で必要とされていること、新しいことに取り組むことが大切であり、さまざまな分野を世界から見つめ、資質・意欲・関心に合ったものを見極めるとよいことを学びました。(墨田区立中・女子)
- 人々の生活は、世の中のさまざまな「仕事」によって支えられていて、一人だけでできることはないのだと思いました。だからといって、周りの人に頼ることなく、自分から失敗

を恐れずチャレンジしようと思いました。(練馬区立中・男子)

- 世の中にパーフェクトな人間はいない。必ずどこかに欠点がある。だから、できるだけ努力をする、考える、聞く、聴く、訊く。そうすることで自分を磨くことができ、社会で通用する人間になることができることを知りました。(杉並区立中・男子)

### 教員の感想

- 子どもたちは失敗を恐れ、大人から与えられた安全の中で過ごしているように思います。自ら進んで問題に取り組み、失敗の中から学ぶ姿勢が今の子どもたちに足りないのではないか。その思いを新たにしました。(私立中・教諭)
- 他校の中学生の質問を聞き、啓発させられたところもありました。基調講演を受けて生徒たちがどのように考え、消化しているのか。生徒たちの考え方、受け止め方が大変参考

になりました。(私立中・主任教諭)

- 具体的に事象と照合せながらのお話は非常にわかりやすく、また行動化への道が拓かれる思いがしました。(さいたま市立中・教諭)
- 経験と先見性のある講師の方とのディスカッションはとても有意義でした。もっと講師の方とコミュニケーションが取りたかったです。次回も参加したいと思います。(杉並区立中・校長)

### 保護者の感想

- 経済同友会の熱意や取り組みがよくわかりました。パワフルな方ばかりで、楽しく意見交換できました。(野田市立中・PTA)
- 参加者の方々の意見も素晴らしく、勉強になりました。特に、地域にどのようなかかわっていくかという問題について、いろいろな視点から意見が出てよかったです。(世田谷区立中・PTA)

## 7. 中学生・高校生の皆さんへ 「お薦めする本」・「応援メッセージ」

本報告書では、中学生、高校生の皆さんに、本を読むことを提案しています。「でも、どんな本を読めばいいのだろう?」と、迷ったときには、ここに示した私たち経営者が「お薦めする本」を参考にして下さい。

また、これからの社会を担っていく皆さんへの期待を込めて経営者から「応援メッセージ」をお送りします。

「後世への最大遺物・デンマーク国の話」

内村 鑑三  
岩波文庫 岩波書店

人は死んだ後、後の世に何が残せるか。  
お金か、事業か、作品か、教育か、生き方か。  
人は何のために生きるかを考えるときの参考書。

林 明夫 開倫塾 取締役社長

「車輪の下」

ヘルマン・ヘッセ 高橋健二 訳  
新潮文庫

勉強することの意味を考え、その先の人生を  
考える上で示唆に富む内容。

遠藤 勝裕 日本証券代行 取締役相談役

どんな本でもいいから沢山読みなさい。

富田 純明 日進レンタカー 取締役会長

「旅をする木」

星野 道夫  
文春文庫

好きな道を歩むことの大切さを教えてくれる本  
です。

日高 信彦 ガートナー・ジャパン 取締役社長

「処女峰アンナプルナ」

モーリス・エルゾーグ  
山と溪谷社

人それぞれの「アンナプルナ」(目標・ビジョン)  
を持つ事の大切さがメッセージとして伝わって  
くる。

森川 徹治 ディーバ 取締役社長

「十五年戦争小史」

江口 圭一  
青木書店

昭和史をまとめた本は少なく、日本がなぜ米・  
中・英・仏・蘭・ソと戦争に至ったかをひとつの視  
点でまとめている。高校生に良い。  
中学生には難しいかな。

小島 秀樹  
小島国際法律事務所 弁護士・代表パートナー

「道をひらく」

松下幸之助  
PHP研究所

松下幸之助自身の人生体験から人の社会に  
対する役割、責任を考えさせられる。  
ストーリーに現実味がある。

長久 厚 ラクオリア創業 取締役社長&CEO

「走れメロス」

太宰 治

- ・人を信じる事の大切さ
- ・強い思いが不可能を可能にする

大塚 良彦 大塚産業クリエイツ 取締役社長

「小さな王子さま」  
サン＝テグジュペリ  
みすず書房

本当に大切なものは目に見えないもの(心)です。

鰐淵 美恵子 銀座テラーグループ 取締役社長

「君たちは何のために学ぶのか」  
榊原 英資  
文藝春秋

子供たちには動機づけが非常に重要

近藤 章 富士火災海上保険 執行役社長CEO

「エコトバ」  
電通エコプロジェクト  
小学館

地球のことを考えるよい材料

福川 伸次 機械産業記念事業財団 会長

「13歳のハローワーク」  
及び「新13歳のハローワーク」  
村上 龍  
幻冬舎

中・高校生が自分の未来への可能性を感じることが出来る本だと思う。

島田 俊夫 シーエーシー 取締役社長

「虚数の情緒  
--中学生からの全方位独学法--」  
吉田 武  
東海大学出版会

勉強をすることで自分が知らなかった世界が切り開かれ、志が生じ、生き甲斐をもって人生を生きる勇気を与えてくれる。

青松 英男 DRCキャピタル 代表取締役

「どくとるマンボウ航海記」  
北 杜夫  
新潮文庫、角川文庫

私も中学生の時に読みました。ユーモアにあふれていて、世界を旅したい気持ちにさせられますが、文学作品としても優れています。

吉村 幸雄  
シティグループ・ジャパン・ホールディングス  
執行役員 ガバメント・アフェアーズ担当

「野口英世」

逆境をエネルギーとして世界にはばたいた人生から学べることが多い。

有田 浩之 ブラックロック・ジャパン 取締役社長

「君たちはどう生きるか」  
吉岡 源三郎  
新潮社

人間らしく生きることへのアドバイスが書かれている。

木下 利彦 ドクター・ジャパン 代表取締役

「新13歳のハローワーク」

村上 龍  
幻冬舎

世の中にはどんな職業があるかを知り、自分がやりたいことを考えるヒントを得られる。

尾原 蓉子 IFI(財)ファッション産業人材育成機構  
IFビジネス・スクール 名誉学長

「赤と黒」  
スタンダード  
岩波文庫他

若者の社会への巣立ちにあたって、職業とは、  
野望とは、社会の矛盾とは何かをぼんやりとし  
ながら考えさせられた。

森島 英一 佐世保重工業 取締役社長

「街道をゆく」「坂の上の雲」

司馬 遼太郎

日本人はどこから来たか、日本人はどんな発  
展をしてきたか、日本人は島国人ではなくグ  
ローバル社会につながる者である。

西村 英俊 双日 顧問

「解夏」

さだ まさし  
幻冬舎

- 1.綺麗な日本語で日本晴れの下に書かれている。
- 2.4つの短編とも今日の日本が抱えている問題を取り上  
げている。
- 3.真の悪者が一人も登場しないで悪い事を考えさせる。
- 4.ストーリーテリングが誠に上手い。

高橋 衛 ドイツ証券 常勤監査役

「単純な脳、複雑な『私』」

池谷 裕二  
朝日出版社

「こころ」の働きが科学で説明できるようになってき  
た。先端研究の成果から「脳」と「こころ」の仕組み  
を解説する本書は、読者に自分自身の「こころ」を  
見つめさせ、科学の世界へと誘う良著である。

木村 廣道 ライフサイエンスマネジメント 取締役社長

「声に出して読みたい日本語」

齋藤 孝  
草思社

コミュニケーションの道具である言葉を「発声」  
することによって再認識できる。日本語の面白  
さや美しさも体験できる。

松岡 昇 モリテックス 取締役専務

「自由と規律」(イギリスの学生生活)

池田 潔  
岩波新書

中学二年の国語教科書に、「自由と規律」のス  
ポーツマンシップについての文章が転載されて  
おりました。少年時代に読んだ忘れられない本で  
す。

山岡 建夫 JUKI 取締役会長

「自助論」

サミュエル・スマイルズ(竹内 均:訳)  
知的 生き方文庫

「天は自ら助くる者を助く」という発想は、今の日  
本人に最も必要であると思うから。

樋口 智一 ヤマダイ食品 取締役会長兼社長

「リトル トリー The Education of Little Tree」  
フォレスト・カーター Forrest Carter  
めるくまーる

著者がインディアンの祖父から教えられた自然との対話を通して、現代社会で失いつつあるものを私達自ら学ぶことのできる本である。

蟹瀬 令子 ケイ・アソシエイツ 取締役社長

「3日で打てるこども囲碁入門」

横内 猛  
誠文堂 新光社

囲碁は思考力・記憶力の訓練になります。相手の心が読めるようになり、人生で重要な勝負に強くなります。但し、面白すぎて、他のことをする時間がなくなるという欠点があります。

松崎 昭雄 森永製菓 顧問

「こころ」  
高田 好胤  
徳間文庫

高一のとき、奈良薬師寺にて高田先生の講話を聴き、感銘を受けた。そのエッセンスが書いてありました。

市川 俊英 三井不動産 常務執行役員

「シートンの動物記」  
シートン

地球上には、人間以外の動物がいる事、彼等と共存する必要のある事を認識してほしい。

井上 明義  
三友システムアプライザル 代表取締役

「ツバメ号とアマゾン号」  
アーサー・ランサム  
岩波書店

子供たちの冒険心・協調心・好奇心が織り成す楽しい読み物。友情・規律の重要性を知らず知らず学べる本だと思います。

斎藤 聖美  
ジェイ・ボンド東短証券 取締役社長

「野火」  
大岡 昇平  
新潮文庫

戦争という極限状態の中で、人間いかに生きべきかを研ぎ澄まされた日本語で小説に仕上げている。

岩下 正  
ローン・スター・ジャパン・アクイジションズ 会長

「種の起源」  
チャールズ・ダーウィン  
岩波文庫

自分の現状と将来を考える一冊にしてほしい

古内 耕太郎 燦ホールディングス 取締役社長

「坂の上の雲」(1~8)  
司馬 遼太郎  
文春文庫

日本、日本人、アジア、世界の中の日本を知り、先人の努力を知る事。

藤田 實 オグルヴィー・アンド・メイザー・ジャパン  
取締役副会長

「星の王子さま」  
サン＝テグジュペリ

年令を重ねる度に感動するところが異なる。  
何回でも読むことを薦めます。

林 達夫 アークデザイン 取締役社長

「21世紀に生きる君たちへ」  
司馬遼太郎・ドナルド キーン  
朝日出版社

「グローバルな時代に生きる日本人としての  
意識と人間への優しさ」を知ってもらいたい。

岩尾 啓一 キャリア工学ラボ. 取締役社長

「自由と規律」  
池田 潔  
岩波書店

英国のパブリック・スクールの教育を紹介し、  
有為な人の道を説いているから。

廣瀬 駒雄 テイル外フォース シニアフェロー

「15歳の東京大空襲」  
半藤 一利  
ちくまプリマー新書

日本歴史の正しい理解のため

村田 嘉一 日立製作所 名誉顧問

「オバマから子どもたちへ」  
オバマ教育演説より  
茂木 健一郎 監訳  
朝日出版社

子ども達の考えるべき「責任」「将来」「挑戦」  
「努力」について納得しやすく具体的に語られ  
ている。

同前 雅弘 大和日英基金 副理事長

「100万回生きたねこ」  
佐野 洋子  
講談社

絵本の中に人の生き方の示唆があります。  
読むたびに新たな発見に出会えます。

井上 健 日本電設工業 取締役社長

「ファーブル 昆虫の詩人」  
古川晴男  
講談社 火の鳥 伝記文庫 31

科学・哲学・文学などなど、学問は大自然が本  
当の先生であることに気付き、パソコンの電源  
を落として散歩の達人になって欲しい。

小林 恵智 ヒューマンロジック研究所 取締役会長

特に薦める本はありません。自分で色々読ん  
でいるうちに「これだ！」と気づくもので大人が  
「これが良いよ」と与えるべきものではないと思  
います。

岡本 和久

I-Oウェルス・アドバイザーズ 取締役社長



「フランクリン自伝」  
ベンジャミン・フランクリン

中央公論新社—渡邊利雄訳—中公クラシックス、  
岩波書店—松本真一・西川正身訳—岩波クラシックス、  
講談社—斉藤正二訳—講談社文庫

この本の中で特に“幸福になるための13の徳目”の章を勧めます。  
アメリカ建国の中心人物で、政治家、発明家、事業家であった彼は  
若い頃は喧嘩っ早く、誰にでも好戦的でした。そこで自分自身をコン  
トロールするために13の徳目を設定し、自分自身のコントロールに  
着手しました。独立独歩の彼が自身の行動・生き方をどう改善した  
かその実践的な手法は21世紀の若者に是非学んで欲しいと思いま  
す。

倉田 進 KURATA and ASSOCIATES 東京オフィス代表

「新装 世界の伝記 全50巻セット」から

(7)勝海舟(10)ガリレオ(11)キューリー夫人(16)西郷隆盛  
(17)坂本竜馬(32)二宮尊徳(33)野口英世(42)ヘレン・ケラー  
(50)リンカーンなど

山室 静 ほか編著  
ぎょうせい

私の子供の頃は、昼間は外で鬼ごっこや三角ベースボールで大いに遊び、夜になる  
と手当たり次第に本を読むことが主な楽しみでした。テレビもゲーム機もパソコンや  
携帯も無い時代でした。中でも当時感銘を受けたのは、立派な人達の伝記でした。  
当時の本がどうい出版社から出されていたかは全く覚えていませんのでインター  
ネットで調べたら上記のシリーズを見つけました。50冊全て読む価値があると思いま  
すが、私の記憶によく残っているものを挙げておきます。強いて“1冊”に絞れば「野  
口英世」を挙げたいと思います。

茂木 賢三郎 キックマン 相談役

宮沢賢治の作品

「セロ弾きのゴーシュ」、「銀河鉄道の夜」、「風の又三郎」他

宮沢 賢治

講談社、角川書店他

賢治の素晴らしい文章表現や、自然や動物との関わりを想像力豊かに  
表現していることで、読者の情感を豊かにする力をもっている。  
賢治はデクノボ一的人物を主人公としているが、それを通して、人間と  
して誠実に生きることが一番大切であることを教えている点。

松井 秀文 ゴールドリボン・ネットワーク 理事長

「奥の細道  
アートコレクション『芭蕉が見た風景』」

松尾 芭蕉

京都書院

(沢山出版されていますが、写真も豊富なので子供たちには入り易い。)

俳句という日本の精神風土に根ざしたものを知る事によって日本の自然の美しさ、歴史観も知ることが出来る。

高坂 節三

コンパス プロバイダーズ L.L.C.

ゼネラルパートナー 日本代表

- ・「夏草冬澗」井上 靖 新潮社
- ・「マイクロソフトでは出会えなかった天職」  
ジョン・ウッド ランダムハウス講談社
- ・「思考の整理学」外山滋比古 ちくま文庫
- ・「幸福の王子」ワイルド 新潮文庫
- ・「13歳の黙示録」宗田 理 講談社文庫
- ・「義経千本桜」橋本 活 ポプラ社
- ・「裸でも生きる」山口絵理子 講談社

田村 哲夫

青葉学園(東京医療保健大学)理事長

「次郎物語」

下村 湖人

人生を真摯に生きることへの指針に満ちている。  
例えば、(記憶にたどっているのが、正確な言葉ではないが)、  
“岩の間に落ちた松の種が、その中で精一杯生き、大きな成長をした。狭苦しい岩の間の空間を制約と考えず、それは、成長するために自分の部屋をあたえられたのだと考える”というようなことが記されていた。人生を如何に生きるか？感銘を受けたことを記憶している。

山中 信義 ベインキャピタル・ジャパン 副会長

Do your utmost at all times,  
and the rest follows  
( 瞬間瞬間に全力を出しきれ! )

山中 信義  
ベインキャピタル・ジャパン 副会長

上に頼るな! イエスからの出発!  
遠藤 勝裕  
日本証券代行 取締役相談役

人と違う事を恐れないで。  
あなたは他の人と違う力を持  
っているのだから。  
それを見つけて磨こう。

尾原 蓉子  
IFI[(財)ファッション産業人材育成機構]  
IFIビジネス・スクール 名誉学長

世界は広い。  
自分のカラに閉じ込めず、  
外を見よう。

吉村 幸雄  
シティグループ・ジャパン・  
ホールディングス 執行役員

自分ひとり、あるいは  
仲間うちだけにとじこもらず、  
広く心を開いてほしい

岩下 正  
ローン・スター・ジャパン・アクイジションズ  
会長

出来ないという限界は自らが作っている。  
その限界という壁を打ち破れるのは、  
自分の“強い思い”だけ。

大塚 良彦  
大塚産業クリエイツ 取締役社長

為せば成る

福川 伸次  
機械産業記念事業財団 会長

天才とは99%努力の人。  
最後まで諦めない人に  
成功は訪れる。

廣瀬 駒雄  
ディレクトフォース  
シニアフェロー

『一日一生(いちにちいっしょう)』

過去に囚われ、未来を妄想することなく、今ここの  
現実を真正面から受けとめ、出来る事を完璧にし  
ている中で気付く自分の使命、つまり『命の使い  
方』を知って生きて欲しいから。

小林 恵智  
ヒューマンロジック研究所 取締役会長

夢は出来ない事ではない。  
達成する目標である。  
「できないというのは  
結局やらない事だ」荘子

西村 英俊  
双日 顧問

かけがえのない自分だけの人生、  
夢を持ち努力を続けて下さい

高坂 節三  
コンパスプロバイダーズ L.L.C.  
ゼネラルパートナー 日本代表

あなたの夢は何？  
その夢に向かって生きよう

長久 厚  
ラクオリア創薬 取締役社長&CEO

勉強は自分のためにするんだ。  
本を沢山読みなさい。

富田 純明  
日進レンタカー 取締役会長

人はみな失敗して学んでいるので、  
失敗を恐れるな！

木下 利彦  
ドクタージャパン 代表取締役

“ありません” “知りません”  
“判りません”と言わないこと

林 達夫  
アークデザイン 取締役社長

「感謝と努力」

日本というすばらしい国に、今という  
平和な時に、人間として生きていること  
に感謝。  
これらへのお返しとして、社会の為に、  
日本の国の為に、世界の平和の為に、  
少しでも貢献するように努力。

松崎 昭雄  
森永製菓 顧問

可能性は自分の心の中にある

市川 俊英  
三井不動産 常務執行役員

変えられるのは自分だけ。  
自分が変われば全てが変わる。

日高 信彦  
ガートナージャパン 取締役社長

人と違うことをしよう！  
そのほうが楽しいよ！

斎藤 聖美  
ジェイ・ボンド東短証券  
取締役社長

「一生勉強、一生青春」  
自分の夢に向かって  
一生勉強し続けよう

林 明夫  
開倫塾 取締役社長

グローバル時代をたくましく  
生き抜いて欲しい。  
英語はそのため不可欠。

近藤 章  
富士火災海上保険  
執行役社長CEO

Speciality(才能への気づき)  
学校は「見つける場」「育てる場」  
「土台を作る場」

同前 雅弘  
大和日英基金 副理事長

“リアル”を大切に！

森川 徹治  
ディーパ 取締役社長

「投資」とは将来の大きな喜びのため  
に今、少しがまんをすることです。  
勉強は将来の自分のための投資です。

岡本 和久  
I-Oウェルズ・アドバイザーズ  
取締役社長

「群れるな」  
「いつも一人で考えよ」

小島 秀樹  
小島国際法律事務所  
弁護士・代表パートナー

10年先の自分を考えて、「自分史」を  
未来から現在に逆算して作ろう

鏑淵 美恵子  
銀座テーラーグループ  
取締役社長

「あなたの一番のお仕事は  
幸せになることです」  
そのために、今、何をしなければ  
いけないかを考えて行動しましょ  
う。

蟹瀬 令子  
ケイ・アソシエイツ 取締役社長

- ①自分たちには「無限の可能性がある」ことを知ること
- ②目標を持つこと。目標を持てば、必ず毎日が豊かになる。

島田 俊夫  
シーエーシー 取締役社長

まずは君の夢、実現したいことを具体的に考えること。  
それを実現するためのきっかけは、すでに身の回りに  
散らばっているはずだ。

木村 廣道  
ライフサイエスマネジメント  
取締役社長

やりたいこと、好きなことを見つけなさい。  
そして、それに夢中になり、没頭しよう。  
その努力する時間が長ければ長い程、  
人は成長し、将来の可能性は広がる。  
君たちの可能性は無限にある。

松井 秀文  
ゴールドリボン・ネットワーク 理事長

質素儉約に生きて下さい。「しょうがない」「社会が悪い」  
「みんなしていることだから」という3つの魔法の言葉さえ  
口にしなければ、君たちは君たちの嫌いな大人になるこ  
とはありません。君たちのなりたい大人になれますよ！

樋口 智一  
ヤマダイ食品 取締役会長兼社長

「スポーツが与える三つの宝」小泉信三  
1.練習は不可能を可能にする体験  
2.フェアプレーの精神  
3.良い友

山岡 建夫  
JUKI 取締役会長

空を見ろ—高い志を持ち、くじけそうになった時には、  
空を見て自分の理想・夢を思い出す  
身体を使え—健康・栄養・運動をよくし、心身を鍛える  
本を読め—興味を持って沢山の事を学ぶ事、ただし  
自分でよく考え、自分の判断・意見は明確に持つこと

倉田 進  
KURATA and ASSOCIATES  
東京オフィス代表

人にしか出来ないことは「希望」を持つこと。希望が具体的「目標」となり、目標を「達成」した時の喜びで人は生きていける。

井上 健  
日本電設工業 取締役社長

「努力すること」は才能である

村田 嘉一  
日立製作所 名誉顧問

日本の近・現代史を学んで、現在の苦境を乗り越えて頑張ろう

藤田 實  
オグルヴィ・アンド・メイザー・ジャパン  
取締役副会長

夢を育もう。志を立てよう。  
そして、それを実現するための  
実行力と実務能力を学ぼう。  
特に英語を含む  
コミュニケーション能力を。

森島 英一  
佐世保重工業 取締役社長

将来の職業の選択は、親や先生が君に就いてほしいと期待する職業ではなく、本当に自分が好きでやりたいことをしよう

青松 英男  
DRCキャピタル 代表取締役

選ばれる側より、選ぶ立場の人になってほしい。  
それには勉強が必要である。

井上 明義  
三友システムアプライザル  
代表取締役

「未来は想うものでなく、創るものだ」  
“星の王子様”より

田村 哲夫  
青葉学園(東京医療保健大学)  
理事長

何事も一歩踏み出すことが出来る  
勇気が大事。  
失敗するより失敗を恐れて何も  
挑戦しないことの方が問題である。

古内 耕太郎  
燦ホールディングス 取締役社長

「気力」、「知力」、「体力」  
3つの「力」をバランス良く  
育んで下さい

松岡 昇  
モリテックス 取締役専務

今、皆さんにはテレビ、パソコン、ゲーム機等いろいろな楽しみがあります。いや、あり過ぎます。

その結果、皆さんは昔の子供ほどには本を読まなくなっている様です。日本語をよく学ぶことが、すべての教科の基礎だと私は思います。(英語でさえも、実は日本語の力が基礎だという専門家がいます。)

その為には良い本を多く読むことが必要です。そして国語力を身につけ、すべての学科を学ぶための土台をしっかり作りましょう!

茂木 賢三郎  
キックマン 相談役

夢中になろう

有田 浩之  
ブラックロック・ジャパン  
取締役社長

万物の価値の源泉は、人々の働きにある。  
(身の回りの机や椅子の価値観も人々の  
労働の積み重ねで成り立っている。)

原田 靖博  
格付投資情報センター 特別顧問

「好きで得意を探す」  
好きで得意な分野で仕事をすれば、楽しい人生が送れます。好きや得意を決めるのは自分自身です。家庭や学校生活を通じて、決められる自分を作って下さい。

喜吉 憲  
カルチュア・コンビニエンス・クラブ  
顧問

人は、時の流れのなかで生きています。  
今は無駄な時間だと思っても、必ず無駄では無かったと思える時期が来る。  
人生に無駄な時間は無いと思って、「悩み・焦り」ながら悠々と生きてください。

岩尾 啓一  
キャリア工学ラボ、取締役社長

“た か は し の法則”を心がけてみてください  
タは“体験”の“た”-色々な体験をする。(本を読むのも含む)  
カは“感性”の“か”=(その他 閑静、歓声、完成もあるが)  
感じる力、愛でる力、関心する力を養う。  
(その為にも体験と伴侶が必要)

ハは“伴侶”の“は”-良いパートナー 仲間を作る  
シは“信頼”の“し”-人から信頼されることは人間としての  
基本要件

高橋 衛  
ドイツ証券 常勤監査役